

令和5年度 ぎふ立志リーダー養成塾 実施報告書



岐 阜 県

目 次

	ページ
御挨拶	1
開催概要	2
合い言葉とユニフォーム	12
日程表	13
プログラムを終えての塾生の感想	14
保護者の感想	44
学生スタッフの感想	49
事業の成果	53





開塾のあいさつ

令和5年度ぎふ立志リーダー養成塾 塾長

中川 正之

多くの可能性を秘めている皆さん。皆さんは我が国の未来を担う次世代のリーダーとして大いに期待されています。その未来に素晴らしい道が開ける事を心から信じています。

若い皆さんが経験を重ねながら成長していく過程において、個々の人間形成がなされていきますが、その過程でいかに正しい判断力や感性を身に付けていくかがとても大切です。その為には「誰が正しいかではなく、何が正しいのか」という考え方や「常に探求心を持ち物事を正しく突き詰める」という感性を養う事が大切だと思います。

特にリーダーになる人は「相手の考えを聞く事や、相手の立場になって判断する事」が大切です。その上で信念を持った行動がとれる人こそ、真のリーダーになれるのだと思います。

私は、「感謝できない人は、相手からも感謝されない。感謝されない人生を送るより感謝される人生を送りたいものだ。」と常々思っています。今、自分が在るのは、家族や多くの周りの方々のお陰です。

皆さんが本塾においても関係する方々に感謝し、多くを学び、これからの人生で大きく羽ばたくことを心から祈念し開塾のあいさつとします。

令和5年度「ぎふ立志リーダー養成塾」の概要

<開催趣旨>

現在の日本は、少子高齢化に伴う社会保障問題や国際社会の複雑な情勢、温暖化に代表される地球規模の環境問題など、課題が山積しており、日本や地域社会の未来を切り拓いていく力強いリーダーの存在が求められています。リーダーには、広い視野と高い志、倫理観に裏打ちされた人格を基盤に、ビジョンを立て、それを自分のことばで伝えるなどの資質が必要とされています。

この養成塾では、感受性豊かな青年前期にあり、また、学校においてリーダー的役割を担い、将来、各方面での活躍が期待される志の高いみなさんが、美しく豊かな自然環境の中、優れたアドバイザーの指導のもと、同じ志をもった仲間とともに、「考え、チャレンジし、まとめあげ、発信する」共同作業を通して、「目的を達成するために、責任ある決断をし、人をまとめ、導く力」を伸ばすことにより、将来のリーダーを養成します。

主催： 岐阜県

協賛： 一般社団法人岐阜県経済同友会、一般社団法人岐阜県経営者協会、岐阜県商工会議所連合会、岐阜県中小企業団体中央会、岐阜県商工会連合会

後援： 岐阜県教育委員会

塾長等： 塾長 中川 正之 氏（一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事）

副塾長 益川 浩一 氏（岐阜大学教授）

開催期日： 令和5年8月5日（土）、8月6日（日）、8月7日（月）、8月8日（火）（3泊4日）

会場： トヨタ白川郷自然学校（大野郡白川村馬狩223）

塾生： 岐阜県内の中学校において、現在生徒会長・副会長・生徒会役員・学級代表（議員を含む）として活動する2年生及び3年生（いずれも経験者を含む）24名

1 第1日目 8月5日（土）

(1) 講義 「正しい判断が出来るリーダーとなって活躍する事」

【講師】 中川 正之 塾長

（一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事、(株)ハウテック 代表取締役社長）

【内容】

①感謝の心

- ・「ありがとう」という言葉は、人格を表している。
- ・「人に感謝する人は、人から感謝される。人に拍手ができる人は、人から拍手をしてもらえる。」拍手は相手への敬意を表す。拍手を率先して行うことで、よい関係が生まれる。

②社会人として

- ・相手の立場に立って考えることが大切。例えば、いじめについては、いじめられる側の気持ちを考えられるようにすることが大切。
- ・ごみは誰かが捨てた運。ごみを拾うことは運を拾う。
- ・井の中の蛙大海を知らずのことわざのとおり、他校の生徒同士が関わることで新しいチャンスを手に入れる。

③皆さんに期待すること

- ・「誰が正しいのではなく」ではなく、「何が正しい」のか見極めていくことが必要。
- ・リーダーの役割を果たすとは
 - ①明確な指示、発言ができる。言い訳をしない。できないことはできないと言う。
 - ②人の話をよく聞くこと。聞くことでの確に判断ができる。
 - ③メモを取る。人の記憶には限界がある。
 - ④慎重だが素早い判断をする。
 - ⑤率先して行動に移す。



<塾生の感想>

- ・「誰が正しいのか」ではなく「何が正しいのか」という話がとても印象に残った。学校での話し合いの中で、「皆がそう言っているから」と周りに流されて自分の意見が言えないときがあったが、正しいと考える意見を積極的に発信したい。
- ・「感謝」という一言の重みを知ることができた。今後の日常において「ありがとう」が言えるようになりたい。
- ・学校での自分を振り返ると、「明確な指示、方針を出すこと」が自分にできていないと感じた。自分が不安だと仲間も不安になり、思いが伝わらなくなる。自分が信頼してもらえるよう、自信をもって話すこと、言い切ることを意識して生活していきたい。

(2) リーダー養成プログラム① 「チームビルディング」

【指導】 トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】 参加者の相互理解、信頼関係づくり

活動名	目的	内容	ポイント
ラインナップ	アイスブレイク	情報交換なしに誕生日順に並ぶ。	集団の中で自ら判断し、行動するメンバーシップや、言語以外のコミュニケーションを体験する。
仲間探し	アイスブレイク	しゃべらないで自分と同じ部活動に所属している仲間を探す。	自らを表現することや、放課後の活動を視覚的に知り、お互いを知るための個人情報を共有する。
ネームトス	アイスブレイク	お互いの名前を呼びながらボールを投げあう中で、覚えていく。	対人関係を円滑にする双方向コミュニケーションを意識づけると共に、名前を気軽に呼び合える関係を醸成する。
フラフープくぐり	信頼関係づくり	手をつないで輪をつくり、フラフープを一周させる。	仲間と共により良い方法を考えながら、全員で課題を達成する。
漢字みつけ	情報共有の大切さ	□に隠された漢字を多く見つける。	一人よりもグループで、グループよりも全体で考えを共有することでより多くの考えが出せる。



<塾生の感想>

- ・同じ目標に向かって協力することを学べた。チームとしてゲームをするときは、一人にならず、みんなで協力することで、課題を解決することができた。
- ・仲間と協力することの大切さや、コミュニケーションの大切さがわかった。仲間と協力しなかったら思いつかないことや出来ないことがたくさんあり、これから物事を進めていくには仲間とも協力が欠かせないと感じた。
- ・グループとチームの違いについて学べた。一つの課題を達成するために、一人一人が自分にできることを見つけ、率先して動いていた。単純に分けられたグループからチームへと変わっていく実感があった。

(3) リーダー養成プログラム② 「グループワークとリーダーシップ」

【指導】 トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】 客観的な状況判断、個人の主体的な行動、グループの合意形成にいたるプロセス等について、体験的に学ぶ。



< 塾生の感想 >

- ・言葉を使わないという制限の中で、相手に自分の思いを伝えることの大切さや、自分自身が一生懸命取り組むからこそ、すぐに口を出してしまう性格だということを知ることができた。
- ・相手と意思の疎通が言葉でできない状況では、自分の思っていることややりたいことが伝わりにくく、イライラすることもあったが、自分の意見、感情を伝えるを通して相手とつながることで仲間と協力して目標に向かって進めることに気が付いた。

(4) 1日の振り返り

じっくりと1日を振り返り、自分の成長やこれからがんばりたいことを記述した（毎日実施）。

2 第2日目 8月6日（日）

(1) リーダー養成プログラム③ 「世界遺産を学ぶ」

【観光ガイド】 白川村立白川郷学園 6年生児童

【内容】 白川郷荻町合掌集落について、実際に集落内へ移動し、合掌造りの見学を通して、世界遺産を守るための住民の努力と今後の課題等について学ぶ。白川郷学園6年生児童がグループ別で合掌集落について案内する。また、合掌集落内における観光業の実態をフィールドワークにより調査する。

【見学先】 白川八幡神社、明善寺、神田家、長瀬家、和田家等



< 塾生の感想 >

- ・ 300年もの歴史があり、東西に屋根が向くようになっており、雪などが太陽光で溶けるように工夫されていることを初めて知った。
- ・ 実際に見てみないとわからない人の数、風景、家のつくりが見られた。また、観光について現状や課題を肌で感じる事ができた。
- ・ これまで白川郷について調べたことはあったが、自分の目で見ることによって、「この文化を守りたい」、「この風景を残したい」という思いが強まった。また、観光大使の小学生の案内もあり、知らなかった魅力を知ることができた。
- ・ 合掌造りには、木と木を固定する方法や、縄のような材料であるネソの「曲がりやすい」「乾燥すればするほど丈夫になる」などの利点を生かして接合する工夫にも驚いた。また、合掌造りが燃えてなくならないようにするための現地の人々の工夫を知ることができた。

(2) リーダー養成プログラム④ 「地域リーダーに学ぶ」

【講師】 社団法人ホワイエ 柴原 孝治 代表

【内容】

地域のための取り組みや活動をしている方から、白川村の現状・課題に対して、どのような考えで取り組んできたかを理解する。各自の企画を見直し、今後の企画提案に向けての見通しをもつ。

- 〈観光〉 ・ コロナ前に戻りつつある。
 - ・ 日本人は週末しか来ない。外国人は平日も来る。
 - ・ 写真撮影やお土産の購入、食べ歩きが主の通過型観光である。
- 〈過疎〉 ・ 人口維持が目標。
 - ・ 人口増減は自然増減と社会増減に分けられる。
- 〈担い手づくり〉 ・ 人手不足による地域行事の負担
- 〈産業〉 ・ 観光業と建設業に偏る。

講話後にグループワークでわかったことを出し合い、分類し、意見を整理し全体で交流を行った。



< 塾生の感想 >

- ・ 調べてきた情報よりも深く、新しく知ることが多かった。課題について様々な視点から考え、今だけでなく未来も見通して考えることができた。いろいろな企画についてただやりたいだけでは成り立たず、どれくらいのお金がかかるのか、いつまでにできるのか、どれくらいの成果が見込めるのかなど、一問一答では解答がでないため、視野を広くもち、様々な視点で物事を見る力がついた。
- ・ 特に印象に残ったのは「地域の面白さは何もないこと。何もなければゼロから創っていくことができる」という言葉で、これまでの自分にはない考え方であることを感じたと同時に、何かを変えるには一つの方向からだけ見るだけでなく、多角的にとらえることが大切だと強く感じた。
- ・ リアルな現状と、これからのプロジェクトを聞くことができ、地域課題の企画提案について知識を増やすことができた。

(3) 講話 「リーダーとして期待すること」

【講師】 岐阜県教育委員会 香田 静夫 義務教育総括監

【内容】

○リーダーシップとは？

目標とその実現に向けた見通しを立て、様々な異なる見方や考え方を大切にしながら、だれとでも協力し、ねばり強く、最後まで取り組む。

○「私と小鳥と鈴と」金子みすゞ を読もう

- ・工夫して読もう。
- ・私、小鳥、鈴、それぞれが思っていることを伝え合おう。
- ・作者がこの詩を通して一番言いたかったことはどんなことだろうか。
- ・作者がこの詩で一番言いたかったことについて考える学習を通して、どんなことに気づき、考えを深めたか。

○「いじめ行為」の根絶に向けたお願い。

～「いじめをしない、させない、絶対に許さない学校」をつくる～

○リーダーとして期待すること

「頑張った人には、必ずいいことがある。だから、決してあきらめず、最後までやり抜いてほしい。皆さんの人生に、幸多かれと祈ります。」



<塾生の感想>

- ・「みんなちがうから、みんないい」という考え方がとても印象に残った。今までみんな同じで協調性があることがよいという考えが大きかったけれど、みんなちがうからこそ自分では分からないことや気付けない良さを分かって取り入れることができるという考え方に気が付けた。
- ・私は今まで人と違うことは嫌だと思っていたけれど、それぞれ一人一人の良さがあって、一人一人違うところがあることこそいいと分かり、人と違うところがあっても嫌がるのではなく認めていきたいと思った。学校の話し合いでも、意見が色々あって対立してしまうときがあるけれど、違う意見も認め合って、みんなが納得するまで話し合っていきたいと思った。
- ・今まで「みんなちがって、みんないい」という言葉を、違うからこそ良いのだととらえていたが、自分にはなかった考え方や感じ方があるからこそ、良いものが創れると感じた。企画提案でも相手の話をよく聞いて、その考え方の違いを認め合いながら進めたいと思った。
- ・違いというのは対立を生み、厄介に感じるかもしれないけど、講義を聞いて、違いは新鮮さを生み、人を成長させるととても素晴らしいものだった。違いを否定するのではなく受け入れ、リーダーとしてまとめ、よりよいものにしていきたいと思った。

(4) リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」

【指導】 私学振興・青少年課

【内容】

○プログラムの流れ

課題掴み

- ・現状及び課題の把握

- ・事象に関わる人々の願い
- ・現状、課題の整理と原因の焦点化

企画検討

- ・ゴール（効果）の明確化
- ・メリット、デメリットの整理

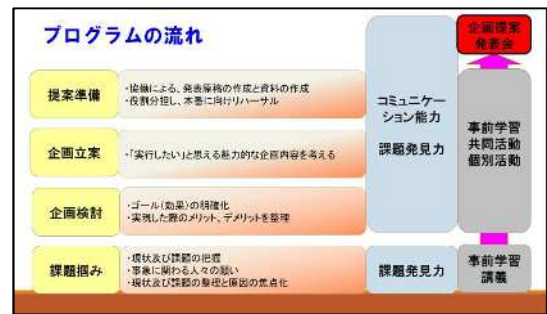
企画立案

- ・「実行したい」と思える魅力的な企画内容を考える。

提案準備

- ・協働による、発表原稿の作成と資料の作成
- ・役割分担し、本番に向けリハーサル

企画提案発表会



○活動を充実させるために～「考え方や表現の仕方」を磨こう～

- ・常に「最上位目標」を頭において考える。迷ったら、「最上位目標」に立ち返る。
- ・課題解決ばかりではなく、強みを伸ばすことを考える。
- ・タブレットの共有フォルダで情報を共有する。
- ・効果的に伝えるために プレゼンの構成の工夫



3 第3日目 8月7日(月)

(1) モーニングウォーク

【指導】トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】インタープリターによるガイドを受けながら、朝の森を散策する。植物の知識や森の役割を理解する。



< 塾生の感想 >

- ・木の匂い、葉や木の手触り、葉で音を出すなど貴重な経験ができた。
- ・森の空気でリフレッシュができた。
- ・五感でいろいろな自然の楽しみ方があることを実感できた。

(2) リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」

【講師】 岐阜大学 地域協学センター長 益川 浩一 教授

【内容】

○企画提案発表会リハーサル後の助言

- ・ 目指すべき未来像を考えることを起点とするバックキャスティング思考。
- ・ ターゲット（年齢層等）を意識する。
- ・ あるもの生かしの視点。
- ・ 「目的」と「手段」を取り違えない。
- ・ 実現可能性を考慮する。

○グループワークのグランドルール

- ・ 全員が同じ立場として参加する。
- ・ 他人の意見を否定しない。
- ・ 全員が場づくりに責任を持つ。
- ・ 全員が当事者意識をもつ。

○プレゼン

- ・ see → show → speak 聞き手を見て、視覚情報から入り、説明する。
- ・ 反応の良い聞き手を見つけ、気分を上げる。



<塾生の感想>

- ・ 特にバックキャスティング思考が印象に残った。これまで課題の原因を見つけその対策話し合っていたけれど、「ありたい姿、あるべき姿などの未来像を考えて、その未来像に近づくために何をしたらいいかを考える」という考え方が、今後にも役に立つと思った。
- ・ 「グランドルール」についてまだ欠けているところがあり、残りの時間で改善していきたいと思った。
- ・ 「真の課題を見つける」こと「理想像を具体的にする」の2つが心に残り、自分の未来、社会の未来の理想像を具体的に掲げ、真の課題を見つけ、バックキャスティング思考でこれからの生活を行っていきたい。
- ・ 今まで学校などで行っていたグループワークでは、グランドルールにあることができていないことに気が付いた。一緒に考えている相手を大事にできていなかったことに気付き、今後それを意識しながらリーダーとしての役目を果たしていきたい。

4 第4日目 8月8日(火)

リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」発表会

【講評】 白川村立白川郷学園 大坪 辰也 校長
岐阜県私学振興・青少年課 若宮 靖範 課長

【内容】

○Aグループ (テーマ: 担い手づくり)

現状と課題

- ・ 人口は自然減、社会減の両面で減少し、なおかつ少子高齢化となっている。人口減少による担い手不足、伝統の継承等について、村民の意識の差が課題としてある。

企画案

①仮住まい体験

- ・ 移住者のための、1週間から3か月の仮住まい体験。対象は20代から50代の家族。インターネットの掲示板により募集。
→ 家族ごとの移住体験により、担い手育成のループになる。

②ガイドブックの作成

白川村の生活様式、仕事等についてわかりやすく提示する。

→白川村に慣れていない人でも、不安なく生活ができる。

③村民とのふれあいの場

- ・畑の手伝い→ 現地のリアルな情報、高齢者の負担軽減
- ・村民と移住者とのイベント → 村民との協力、村民同士のコミュニケーションの向上
- ・ミニチュアづくり → 合掌造りを手軽に継承



○Bグループ（テーマ：過疎対策）

現状と課題

- ・若者の都市部流出による人口減少

企画案

- ・白川村の未来を担う若者を呼び込む

CoyS Project (Come on young Shirakawa Project)

①SNSを通じて白川村の発信

→若者に届けやすく、興味の有無にかかわらず届けられる。

②観光地から移住地へ

→移住者や村民の思いについてのインタビュー動画、行事、日常、仕事などインパクトのある写真、地域行事の紹介を発信することにより、興味をもってもらい、「住みたくなる」魅力につながる。



○Cグループ（テーマ：観光）

現状と課題

- ・日帰り客が多く、経済的な消費が少ない。ゼロドルツーリズムであり、宿泊客が少ないところが課題となっている。

企画案

白川郷宿泊プロジェクト～都会につかれたあなたへ～

①体験型観光

- ・マイ合掌造り 手で持てる大きさの合掌造りを行う。子どもも楽しめる。
- ・シルク石鹸づくり 大人が楽しめる。
→ 白川村の魅力が伝わる。長期滞在につながる。

②体験型ツアー

- ・自然、文化が味わえるツアー（森散策、スタンプラリー、ミニ合掌造り作り、郷土料理作り）、白川村民カレンダー（結の精神の魅力を伝える村民行事カレンダー）
- ・長期企画 夏・冬休みを利用した観光
→ 宿泊をとめない、様々な体験により結の精神と伝統的な合掌造りの魅力を伝える

③体験用ホームページ案

- マーク（ピクトグラム、アイコン）で示し、わかりやすく伝える。
→ 対象、内容、時間が一目で伝わる。



ODグループ（テーマ：産業）

現状と課題

- ・集客数は県内4位だが、観光業以外の産業が少ない。宿泊観光客が少ないため、利益が少ない。
- ・働く場が少ない

企画案

1次産業（生産）+2次産業（加工）+3次産業（販売）=6次産業化を目指す。

LIFE（Local, Industry, Feeling, Experience）プロジェクト

①産業が体験できる施設づくり。

田植え ⇒ 地域のものを使ったものづくり ⇒ 販売
→ 観光客が魅力を知る、村内でのお金の循環

②学校でのコメ作り 萱づくりの継続 → 伝統の体験による魅力の再確認

→ 興味を持つ、魅力の再確認

③若者をターゲットにした SNS を活用したプロジェクトの情報発信

→ 10代、20代の目に留まりやすい。



【講評内容】

○白川村立白川郷学園 大坪 辰也 校長先生

- ・自分事として企画提案できていた。
- ・引き込まれる、驚きのある提案であった。
- ・現状や課題の捉えに対する正確性がある（データ、グラフ）。
- ・現代ならではのSNS、QRコード等を駆使した工夫があった。
- ・具体的な提案 仮住まい、若者を取り込む、体験型の提案、第6次産業等
- ・提案の根底に、人と人のつながりを大切にしていた。結局は人と人が行うものである。

○岐阜県私学振興・青少年課 若宮 靖範 課長

- ・提案に多様性があった。
- ・提案内容について、具体的にターゲットを絞り方法を考えるなど、提案が深掘されていた。
- ・プレゼンの手法に工夫（グラフ、寸劇、声の出し方）が見られた。
- ・難しいテーマに対してどのグループも主体的に考えた提案がそれぞれできた。

合い言葉とユニフォーム

1 合い言葉

Voice yourself!

自分の意見を遠慮せず、大きな声で発表しよう、仲間に伝えよう！

Lead the way!

リーダーとして先頭に立ってみんなを導こう！

The next big thing...

「次の出番は・・・」また、「次のトレンド、大きな波は・・・」
「・・・」の後は「私たちだ！」という意味が隠れている。

※合い言葉やデザインは学校法人渡辺学園サニーサイドインターナショナル幼稚園の園長先生及び AET の方々のご協力により作成しています。

2 ユニフォーム (Tシャツ)

合い言葉をデザインしたTシャツ



令和5年度 ぎふ立志リーダー養成塾 日程表

日時：8月5日(土)～8日(火)

会場：トヨタ白川郷自然学校

時間(分)	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
8月5日(土)			バスにて塾生出発 J内岐阜駅北口 7:30発		美濃加茂ハイウェイアス 8:50発	到着 11:30	オリエンテーション 11:30～12:00(30)	屋食 12:00～13:00(60)	開塾式 1.塾生挨拶 2.自然学校挨拶 3.Tシャツ授与 4.塾生の言葉 5.スタンプ紹介 6.旗挨拶 7.記念撮影	塾長講話	子エッセイコンクール	リーダー養成プログラム①「チームビルディング」指導・自然学校IP内容・信頼関係の醸成	夕食	リーダー養成プログラム②「グループワークとリーダーシップ」指導・自然学校リーダーブリーダー		一日の入浴、仲間との交流等 まとめ	
時間(分)					中濃総合庁舎 9:20発			13:00～14:00(60)	14:00～15:30(90)	15:30～16:00(30)	16:00～17:30(90)	17:30～18:30(60)	18:30～20:30(120)	20:30～21:00(30)	21:00～22:00(60)		
場所					中濃総合庁舎		催事ホール	催事ホール	研修室	各部屋	各部屋	屋外	レストラン	研修室	研修室		各部屋
備考																	
8月6日(日)			朝食	バス移動	リーダー養成プログラム③「世界遺産白川郷白川郷学園」白川郷学園児童による地域住民への聞き取り調査 観光委員 合業落葉班別研修	合業落葉自由散策 白川郷学園児童による地域住民への聞き取り調査	バス移動	移動・準備	リーダー養成プログラム④「地域リーダーに学ぶ」準備	職務教育 総括監講 講師「リーダーとして期待すること」等	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」への企画提案 案作成 検討	夕食	夕食	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成		一日の入浴、仲間との交流等 まとめ	
時間(分)		7:45～8:45(60)	8:45～9:00(15)	9:00～10:15(75)	10:15～11:30(75)	11:30～12:00(30)	12:00～13:00(60)	13:00～13:30(30)	13:30～15:00(90)	15:00～15:30(30)	15:30～16:30(60)	16:30～17:30(60)	17:30～18:30(60)	18:30～20:30(120)	20:30～21:00(30)	21:00～22:00(60)	
場所		レストラン	レストラン	屋外	屋外	レストラン	屋外又は研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	レストラン	研修室	研修室		各部屋
備考																	
8月7日(月)			モーニングウォーク 朝礼 指導・自然学校IP	朝食	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成等	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成等	屋食	移動	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成等	本川副校長による指導 講評	移動	夕食	夕食	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成	一日の入浴、仲間との交流等 まとめ	
時間(分)		7:00～8:00(60)	8:00～9:00(60)	9:00～12:00(180)	12:00～13:00(60)	13:00～15:15(135)	15:15～16:30(75)	16:30～17:00(30)	17:00～17:30(30)	17:30～18:30(60)	18:30～19:30(60)	19:30～20:30(60)	20:30～22:00(90)				
場所		屋外	レストラン	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	レストラン	研修室	研修室		各部屋
備考																	
8月8日(火)			朝食	帰宅準備	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成等	リーダー養成プログラム⑤「地域課題への企画提案」案作成 提案内容の検討・資料作成等	屋食	開塾式 1.終了証授与 2.旗挨拶 3.自然学校挨拶 4.塾生の言葉 5.記念撮影	バスにて塾生出発								
時間(分)		7:45～8:45(60)	8:45～9:15(30)	9:15～11:30(135)	11:30～12:30(60)	12:30～13:15(45)	13:30～14:00(30)	14:00～15:00(60)	15:00～16:00(60)	16:00～17:00(60)	17:00～18:00(60)	18:00～19:00(60)	19:00～20:00(60)	20:00～21:00(60)	21:00～22:00(60)		
場所		レストラン	各部屋	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール	催事ホール		各部屋
備考																	

塾生の感想 ～プログラムを終えて～

「リーダーとして大切なこと」

私がこのリーダー養成塾に参加しようと思った理由は積極的に行動する力をつけ、リーダーという立場で大切なことを学びたかったからです。岐阜県内のリーダーが集まっている中、自分からコミュニケーションをとる力をつけたり、講話や企画提案を通して仲間と協力し、課題解決に向かう力をつけたりしたいと思いました。普段とは違う場でも、リーダーとして行動に移せるのかと、自分の力を試してみたいという気持ちもありました。1日目で一番印象に残ったことは塾長の中川さんの話にあった、リーダーとして必要なことです。①明確な指示を出す②人の話をよく聞く③メモをとる④慎重でも素早い判断をする⑤率先して物事にあたる の5つの大切なことを教えてもらいました。自分の意見だけでは問題解決につながらないため、他者の意見にもよく耳を傾けることも大切なのだなと思いました。また中川塾長さんは感謝の気持ちも大切にされていました。「感謝できない人は感謝されない」という言葉が心に響きました。そして、拍手することも敬意や感謝の気持ちを示すことにつながるので、自ら感謝の気持ちを積極的に示していこうと思いました。また、グループの絆を深めるために、「チームビルディング」がありました。そこでは、「グループ=まとまり・集団」、「チーム=同じ目標に向かって協力する集団」といった、「グループ」と「チーム」の違いをあらためて認識することができ、チームで課題解決をすることの大切さも学ぶことができました。さらにグループの仲を深めるには「自己開示」といって自分の弱みも強みも相手に伝えることで、コミュニケーションをスムーズにできるようになると分かりました。私も学校で自己開示を積極的に行っていこうと思いました。2日目は、白川郷合掌集落を歩き、白川郷について知りました。合掌造りの屋根は100人以上もの人が協力して葺き替えをしているということが心に残りました。白川郷で古くから大切にされてきた「結(住民同士で助け合う相互扶助の精神)」を知ることができ、白川郷で学べることもたくさんありました。柴原さんの講話では、白川郷の「観光」「過疎対策」「担い手づくり」「産業」の4つの視点から話してくださいました。白川郷の強みや課題としっかり向き合う場になりました。また、その強みについてグループで自分の意見を発表する場もありましたが、一人一人の多種多様な考えを知れる良い交流になりました。香田さんの講話では、「私と小鳥と鈴と」を通して、一人一人の違いについて見直すきっかけとなりました。人それぞれ多様な考えがあるので、その違いを認めていくことが人として、リーダーとして大切だなと思いました。その違いを尊重することができないと、すれ違いやいじめも起こってしまうので、一人一人に向き合っていこうと思いました。3日目の朝には、「モーニングウォーク」がありました。森の恵みのありがたみを感じることができたり、森と人との暮らしについて考えたりすることができました。森と人は共存しているので両者が心地よく過ごせるように持続可能な社会を実現することが大切なのではないかと思いました。「地域課題への企画提案」では各自調べてきた資料をもとに案を考えました。資料を根拠に考える力や意見をまとめる力が必要となってくる時間でした。でた意見が多すぎてどうすればいいか行き詰まってしまった時もありましたが、グループでそれぞれの意見をよく聞き、うまく意見をまとめることができました。やはり人の意見に耳を傾けることは大切だなと思いました。グループごとに発表リハーサルをし、益川副塾長にご指導をしていただくという場面もありましたが、言われたことを改善し、4日目の発表に備えることができました。4日目はこの4日間の集大成としての企画提案発表会がありました。伝えたいことがしっかり伝わるように大

きな声で会場全体に聞こえるように話すことができました。また資料を提示したり、目線を前にしたり、話す時に抑揚をつけたりなどの工夫をすることができました。質疑応答の時間がありましたが、他のグループについての感想等を発表することができて良かったです。私以外のグループの工夫も見つけることができました。インタビューやクイズ形式で発表するグループ、問いかけなどをして興味をもたせる工夫をしているグループ、多くのグラフを使って多角的な視点で考えているグループがありました。4日間の集大成としてのとても良い発表をみんなで作り上げることができました。

この4日間を通してリーダーとして大切なことをたくさん学べたと思います。人の話によく耳を傾けること、一人一人の多様な考えを尊重することなどは、学校生活に活かせることだと思うので、意見交流の時間などに活かしていけるようにしたいです。企画提案を通して、チームで課題解決に向けて意見を出し合い、より良いものにしていくことや、一人一人とのコミュニケーションのとり方など、たくさんのことを学ばせてもらいました。これらのことは、今後社会に出てからもとても重要なことだと思うので、日々の学校生活から大切にしていきたいです。このぎふ立志リーダー養成塾で学んだことを忘れずに、みんなを引っ張っていけるリーダーになれるよう頑張ります。

「All day」

僕は、この4日間で多くのことを学び、人として、リーダーとして大きく成長できたと思います。

まず、僕がリーダー養成塾に参加したいと思った理由は、多くのリーダーと生活したり、同じ課題につきすすんで、その人たちから多くのことを学んだり、習得したいと思ったからです。

僕がこの4日間で心に残ったものは、3つあります。

1つ目は、中川塾長の話です。話の中でも、特に感謝をすることの大切さと、話をしっかり聞くこと、メモをとることの重要さが心に残りました。感謝することについては、小さいことも、当たり前なことにも感謝をすることの大切さ学びました。僕は、目的地まで送ってくれた親に対して「ありがとう」と言うことができませんでした。僕は送ってもらったことを当たり前と誤ってしまい、感謝という行動が頭に思い浮かびませんでした。「当たり前は、当たり前ではない」とよく聞くことがあります。言葉としては矛盾しています。でも意味はしっかりと分かります。僕にとっては当たり前だけど、それは、多くの人の苦労やがんばりがあって、できるようになっていて、当たり前になっているけれど、その人達がいなければできないし、その人達に感謝をすることが大切だと、とても理解しました。だからこそ、僕は迎えにきてくれた親に「ありがとう」と言えだし、これから生きていく上で大切にしたいと思いました。そして、話をしっかり聞くこと、メモをとることは、中川塾長の実体験とともに、話をしっかり聞くことで、より理解が深まるし、メモをとることで、証拠になったり、すぐ思い出すことができたりすることを学びました。僕は今後しっかり活かして、役立てたいと思いました。

2つ目は、香田先生の話です。香田先生からは、リーダーについて学びました。香田先生は国語の授業のように教えてくださり、楽しく、分かりやすく学ぶことができました。この授業では、自分がどのようなリーダーになりたいのかを考えることや、実際の詩を使って、さまざまな人の立場で考えることがありました。この詩は「それぞれ違いもあるけど、おなじところもあって、それがいいよね」ということだと僕は思いました。たとえ同じ人間でも似ていても、全く同じ人はいないからこそ、反発もあって、対立がうまれていきます。同じというのは、自信にもなるし、

安心感につながります。けれど、違うからこそ新しい視点がうまれたり、対立が生まれたりしてもそれを乗り越え信頼となると思います。僕は、リーダーはどちらの人もないがしろにはしていないけど、どっちの立場にもなって、思いを知って、それをしっかり判断できる、人を認めてしっかりまとめられる、そんなリーダーになりたいと思いました。

3 日目は仲間やチームとして生活してみたことからです。最初はとても緊張しました。でも、自分から色々な人に話しかけることが目標の1つであり、それが達成できたのは、より成長できた点だと思います。この4日間は短いし、きっと仲間と呼べる関係にもならず、仲良くなることもないだろうと思っていました。でもそんな気持ちが嘘のように、過ぎた今ではもっとあの仲間達と居たいと思います。4日間という短い中だったので、全員と関わることはできませんでした。まず、男子のみんなはとてもおもしろくて、いい人はかりでいた。いっしょに過ごすことが多いこともあり、とても仲良くなれたと思っています。そしてチームのみんなは、地域課題に向けて、たくさん調べて、意見をだしたり、話し合ったりして、とてもよい提案になったと思います。白川郷トヨタ自然学校の黒坂さんの言葉を借りると、まさしく、僕たちはグループではなくチームだと言えます。

4日目の最後で、多くの人が泣いているのを見て僕も目がうるっとしてしまいました。たったの4日でも、そこに込められた思いの大きさは、計りようがないくらい大きいことを実感しました。僕は、この立志塾を開いてくださったこと、チームそして仲間のみんな、ずっと支えてくれた大学生スタッフのみなさん、そしてこの立志塾に携わってくださった多くの人に、ただ「ありがとう」という言葉でいっぱいです。ここで学んだことは僕を成長させてくれたし、一生忘れないと思います。また、みんなと会えることを楽しみにしています。すばらしい4日間を本当にありがとうございました。

「リーダーとしての私をつくった四日間」

私がこの立志リーダー養成塾に参加した理由は二つあります

一つ目は、リーダーとしてもっと成長したいという気持ちがあったこと、二つ目は、人とかかわるときコミュニケーション能力を伸ばしたいと思ったからです。そして、私が目指すリーダー像は誰もが納得して不満が解消できるような会話、話し合いができるようなリーダーです。このリーダー像を目指して頑張るために、今ある白川郷の問題を話し合っ解決できる方法を探すということが、自分の成長につながると思いました。

私がこの塾で学んだこと、心に残っていることは大きく分けて二つあります。

まず一つ目は、話し方と、提案をよりよくするための話し合いを怠らないことの大切さです。この四日間を通して、最終日のプレゼンを作るために、グループでたくさん話し合いをしました。プレゼンの文を考えるとときには、大学生の生徒さんと、伝わりやすくわかりやすい文を作るために、たくさん直しながらとてもいい文を書くことができました。ですが、話し方といっても、プレゼンの時だけではありません。みんなで意見を交流するときにもとても大切なものだと感じました。なぜ私がこう思ったのか、それは、対立した意見が出たことがあったからです。私が出した提案を、いいねと思う人が多くいましたが、その提案に問題点を見つけた子がいました。その意見が出たことで、一度は話し合いが止まってしまったものの、なぜいけないのか、それを解決するためにどうすればいいのかを話し合っ結果的に全員が納得できるような提案、そしてよりよい内容の提案を考えることができ

ました。だから、何か問題点を見つけたり、もっとよりよくしたいという気持ちがあるならば、意見を言うことを恐れずたくさん発言をしたり、その話し方を、工夫することが大切だと思いました。また、声が大きい人の意見にながされない、だれが正しいかではなく、何が正しいかで判断することの大切さを学びました。

二つ目は失敗したときの立ち直り方です。中川さんのお話の中で質問をする時間があったので、私は失敗したときの立ち直り方を質問しました。中川さんはネガティブに考えてもポジティブに考えても、結果は変わらない。だったらポジティブに考えて未来をみていこうといいました。私はその回答を聞いて、自分はいつも失敗したことをネガティブにとらえて気持ちが重くなってしまったことがあったけれど、ネガティブに物事をとらえてもどうせ結果なんて変わりはないし、もっと先のことを考えてみようという気持ちを切り替えることができました。私はこのような経験、話を聞いて、何かを行うときに全員が納得して、よりよくするために発言を恐れないこと、発言ができるような環境を作ること、失敗しても次につなげる意思が持てるリーダーになりたいと思いました。

また、私はこの塾を通して自分に自信がついたし、これから自分が何かに挑戦したりリーダーとして活動したりするときに、この四日間のことを思い出したいと思いました。次は学生スタッフとして参加したいです。

「成長」

僕がこのリーダー養成塾に参加した目的はリーダーとしての成長です。僕は正直前に行く方ではなく、自分の発言に自信をもっていませんでした。みんなの前ではああ言ったけど「これでいいのか」「みんなからの反感は買いたくない」と思っていました。こんな自分はリーダーではない、もっと堂々といなければいけないという強い意志で参加しました。そしてリーダー養成塾当日、全員知らない人で「やっていけるかな」と不安になりながらバスに乗り緊張を少しでも減らそうとバスの中で宿題をして気を紛らわしていました。途中で乗ってきた小酒井くん。僕は部屋が一緒のことを知っていたのでサービスエリアで初めて言葉を発し「よろしくね」と言いました。すると向こうも「よろしく」と返してくれて少し会話をしました。そのおかげで不思議と緊張がなくなったのです。僕は普段初めて会う人は基本話しかけるのをためらってしまうのですが今回の目的は成長なので「変わらなきゃ」と思って挨拶を試みたけど「こんなに早く緊張がなくなるならもっと早くすればよかった」と後悔しました。そしてトヨタ白川郷自然学校に着き初めて自分のチームのCチームの人と会った時、また緊張してしまいあまり前に出て話すことが出来ませんでした。ですがその後のチームビルディングでは積極的に話しかけみんなと普通に話せるようになりました。この行動もまた成長したと感ずることができました。そして講義を受ける中で一番心に残っていることは中川塾長の言葉です。「その場のぎの言葉は言うてはいけない、分からないことは分からないと言う」という言葉です。その言葉を聞いて心を刺された気分でした。それはいつも自分が困ったときに使ってしまう行動でした。リーダーをやっていく上では一つ一つの言葉に責任を持つことが大切なのは知っていました。ですが無意識に逃れようとしていたのかもしれない。その後も講義を聞いてとても勉強になることがいっぱいでした。全部はすぐには出来ないかもしれないけど少しずつ近づけたらいいと思いました。その後のチームでの交流では言い逃れをしないということをまず意識しました。あと中川塾長が「たくさん挑戦する人はもっと成長していく、しない人は井の中の蛙大海を知らずになってしまう」と言っていました。とても共感しました。なぜなら今まで話しかけることをためらっていた自分より話しかける自分

の方が成長したとバスの中で感じていたからです。他の講義では益川副塾長の話で、プレゼンするときのポイントを教えてくださいました。これもまた勉強になることばかりで面白かったです。この講義の中で心に残っていることは see→show→speak、発表の中で味方を見つける、という2つが勉強になりました。see→show→speak とはまず周りを見る、資料を見せるそれから話すという流れのことで、今まで自分はその流れの反対をしていました。「話さなきゃ」という思いが前にでてしまい、聞く人のことを全く考えていなかったと反省しました。次に味方を見つけるというのはまずしっかり聞いてくれる人に目を合わせると自然と話すことができるようになって、それから全体に目を向けるというので、緊張をよくする僕にとってとても有益な情報でした。この2つの講義で僕はなりたいリーダー像に近づけたのではないかと思います。ですがリーダー養成塾は講義でリーダー力を高めるだけではありません。人間としての成長が出来ました。それはリーダー養成塾で出会った仲間たちのお陰です。初めて会って話して小さな勇気を出せる自分になりました。この小さな勇気というのは将来絶対に役に立つと思います。3泊4日という長いようで短い間でしたが最終日には別れを悲しみ泣いていた人もいました。正直僕も泣きそうでした。人は短い間でもこんなに仲良くできるのだと知りました。今回のリーダー養成塾では多くの学びがあり、とても有意義な3泊4日でした。送り迎えしてくれた両親、活動を見守ってくれた学生スタッフや大人の方、そして今回出会った仲間全てに感謝しています。このリーダー養成塾で学んだことを学校生活や人間関係を築いていく上で活かしていきたいです。また、この経験と知識は一生の宝物です。これから先このような機会があったら迷わず参加しようと思います。

「多くの学びと思い出があったリーダー塾」

私は、学校で議員をしていたため、この「ぎふ立志リーダー養成塾」の案内をもらいました。最初は、あまり興味を持ちませんでした。母に進められて応募しました。そして、応募をしたとき、「リーダー」という同じ立場の人が集まるから、話が合ったり、悩みが共有できたりするかもしれないなと思いました。同時に、「私は視野が広いリーダーになりたい。そのために、物事を多面的に見る力を伸ばしたり、意見を言ったり吸収したりしたい。」と思いました。正直、最初はあまり乗り気ではありませんでした。しかし、実際参加してみると普段得られない刺激が沢山得ることができ、本当に楽しくてあっという間でした。1日目の中川塾長様のお話では、感謝と拍手について学びました。決して私に縁遠い話ではなく、身近なことだけど、少し実行が難しい時もあります。でも、お話を聞いて本当に大事なことで、自分にも返ってくることを学びました。その後の質問でも、リーダーに必要なことをたくさん教えてください、本当にためになりました。

「世界遺産に学ぶ」では、白川郷合掌集落を散策し、白川郷学園6年生の皆さんのお話だけでなく、実際に目で見たり感じたりして白川郷の歴史や現状をさらに深く知ることができました。私がその中で一番心に残っていることは、企画提案の作成です。最初は、「本当にこの短時間で企画提案がまとまるのかな」と不安な気持ちがありました。しかし、みんなで意見を出すことから始まり、より具体的に、より濃くしてからプレゼンテーション、原稿をみんなで作って行きました。私はリーダーと二人で原稿を作りましたが、行き詰ったり、少し内容がおかしくなったりと苦戦しましたが、二人で意見を出し合い、ぶつけ合って、よりよいものになっていきました。その後リハーサルをした時も「この時はこうした方がいいんじゃない？」とか

「ここはもう少し大きく言おう！」など、互いに意見を出し合ったり、見ている人側の視点にな

ったりして、さらに上を目指していきました。本番当日に、発表をし終わってから、発表に対する多くの感想や賞賛をもらったとき、本当にうれしかったし、みんなでやりとげた！という達成感がすごかったです。ステージの上で、感想を聞いていたときの喜びは、一生忘れられない経験になりました。これらの経験を踏まえて、私には感謝を忘れないこと、拍手をすることだけではなく、意見を言う・吸収する力と、さらに深く考える力が伸びた気がします。私は、リーダー塾の経験を通してこれから学校でもっと自分の意見を発信して、上手くみんなの意見をまとめられるようなリーダーになりたいです。私は議員なのでみんなの意見をまとめる機会がよくあるけれど、結局多数決になったり、自分の意見をあまり言えなかったり、みんなの意見を引き出せなかったりすることがあります。だから、みんなの意見を誰もが納得するものにするだけでなく、自分がしたいことも言える堂々としたリーダーになりたい。このリーダー塾で学んだことを活かして、これからの学校生活を頑張りたいです。今回リーダー塾に参加して、数えきれない思い出と学び、そして、かけがえのないたくさんの仲間に出会うことが出来ました。また機会があれば参加したいです。リーダー塾を開催してくださったり、関わってくださったりした職員の方々、学生ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

「養成塾を振り返って」

私は、苦手な「人前で話すこと」を少しでも克服し、他校生との交流を通して「いいな」と思ったことを、自分や学校での活動に活かしたいと考え、ぎふ立志リーダー養成塾に参加しました。

塾の活動では、リーダーとしての在り方や、より良い発表・提案のしかたなどいろんなことについて学ぶことが出来ました。

特に印象に残っているプログラムは、3つあります。

1つ目は、リーダー養成塾塾長の中川正之さんの講話です。この講話では感謝の大切さとリーダーとして大切なことについて学ぶことが出来ました。なぜ、感謝が大切なのかというと、とてもシンプルで、人に感謝をすると人から感謝されるからです。また、感謝をされると相手も自分もうれしいと思うので、Win-Winだなと思いました。日常からも感謝を意識していきたいです。リーダーとして大切なことでは、5、6つほど大切な事を教えていただきました。その中でも、メモを取ることはすぐにも実践したいなと思いました。理由としては、メモを残しておく、後々役に立つことがあったり、そのときの情景をすぐに思いだしたりすることができるからです。他の大切なことも意識しながら日常生活に活かせるよう頑張りたいなと思いました。

2つ目は、「チームビルディング」と「グループワークとリーダーシップ」というプログラムです。これらのプログラムの中で「何も発さず」「身振り手振りをしない」というコミュニケーション手段を全く用いず、誕生日順に並んだり、グループ内で全員同じ形をつくったりする活動がありました。この活動を通して、言葉などのコミュニケーションがとても大切に感じたとともに、周りを見て行動するのがいかに重要か分かりました。

3つ目は、「地域課題への企画提案」です。この活動では本当にいろいろなことを学びました。資料の作成では、聞き手が分かりやすいよう簡単にまとめて、見やすい文字の大きさと内容を書くこと、シンプルにすること、数値は場合によっては約〇〇など想像しやすいものにするより

よいことなどを意識して作成すると、より聞き手に伝わりやすいことがわかりました。発表の方法では、根拠や理由を述べる時は指で表すこと、早くしゃべらず大きな声で発表することなどが重要であること。内容では、聞き手が興味を持つよう、質問や具体的な例を入れるとよいことなどが分かりとてもためになりました。

3泊4日の活動や交流を通して、私は色々なテクニックを学んだとともに自分の短所についてよく理解することができました。今後は、前述した通り、自分の短所である周りをよく見ていないところや学んだことを意識していき学校での活動で生かしていきたいと思います。

「かけがえのない仲間と感謝の気持ち」

僕は、この立志塾に参加してとても沢山のことを学ばせていただきました。

僕自身、この立志塾に行こうと思ったのは、自分は川島中学校という小さな水槽の中で生活をしていて、新しい世界が見てみたい、色々な人と関わることでいい刺激を得られると思ったからです。そして、この経験は必ずどこかで役に立つと今も思います。最初は誰とも関わることなく、1人バスで寝ていました。不安も多く、3泊4日が本当に厳しいのではないかと・・・そう思っていました。

立志塾の開塾式を終え、これからやっていける自信もないままチームビルディングに臨みました。あの時の緊張感は今でも忘れません。しかし、いざ始まってみると、みんながフレンドリーで積極的でした。僕はAグループのリーダーになりましたが、リーダーになれてよかった。そう思いました。その後の外の活動で、お互いが仲よくなることのできるゲームを通して、みんなの距離が縮まりグループから、同じ目標を目指すチームになったと思います。僕は、あのチームビルディングがなかったらみんなとあそこまで仲良くなることは不可能だったと思います。だからこそ、あの場を作ってくれた自然学校の黒坂さんには本当に感謝しています。

僕が1番心に残っているのは、2日目と3日目のことです。2日目の夜から、企画提案に向けて準備が始まりました。僕たちAチームは「担い手づくり」というテーマでしたが、事前準備を僕も含めた全員が「観光」だと勘違いして調べてきていたのです。ピンチでした。しかし観光も担い手づくりにつながる事が多く、なんとか進めることができました。話し合いも活発に行われ、みんなから沢山の意見が出ました。が、どれだけ頑張ってもつなげようとしても結論がまとまりません。終わりも見えませんでした。僕はリーダーとして今まで話し合いをしてきて、リーダー同士が集まるとこんなにも意見が出るのだと驚きました。それと同時に考えがまとまらないという初めてのことにかなりショックを受けました。そして3日目には、2日目は何もまとまっていなかったのに他のチームより、かなり進行が遅れてしまっていました。しかし、3日目には新たな面から(多角的)に物事を見ることができて、なんとか完成させることができました。2日目の絶望感から、完成できたことへの達成感は何ものにも代えがたいものでした。僕は自分では、コミュニケーション能力が高いと思っています。基本的には誰とでも話すことができます。でも、1を2以上にすることは得意ですが0を1にすることは本当に苦手で、なかなか勇気を出せません。このリーダー塾では、みんなが積極的で、僕は勇気を出せなくて、すごく恥ずかしかったです。しかし2日目、3日目、4日目には僕も誰とでも話すことができるようになりました。特定の子しか話しかけていなかったのですが、みんなに話しかけ、誰とでも0から1を作ることができるようになりました。僕は、自分の弱い所を直したいと思いますが、それ以上に自分の良さ、強みを伸ばせるようにしたいと思いました。この塾に参加する前は、1人で色々なことをするのが好きで、どんなことをするにしても一匹狼のように行動をしていました。しか

し、このリーダー塾を終える頃にはとにかく寂しくて、終わってほしくなくて、みんなとまだ居たかったです。こんな気持ちになってしまうくらい自分にとって、とても濃密な3泊4日でした。みんなの考えがそれぞれ異なる角度から見ているため、どんな時も納得させられる考え方があり、自分には考えられないようなものばかりでした。この経験を活かして、僕はどんな時も1人で行動するのではなく、周囲の人たちとしっかり交流し、自分で気付くことのできなかつた新しい角度の考え方も取り入れることで、交流をより深いものにしていきたいと思います。

僕は、このリーダー塾を通して「どんなに当たり前のことにも感謝する」ということを学びました。中川塾長の話にありましたが「感謝しない人は、他の人にも感謝されない」「感謝できる人は、ほかの人にも感謝される」ということです。僕は今まで、気まぐれで他の人に合わせて「感謝」をしていました。しかし、この話を聞いてからは誰にでもどんなに小さなことでも「感謝」を欠かさずに行うようにしています。感謝を表す表現が拍手なら拍手をするし、すごいと思ったらすごいと言う。僕はこれを大事にしていきます。中学校生徒会人権担当として、このことは人権にも繋がると思います。どんな人にも感謝をする、すなわちどんな人のことも大切にし、尊重することにつながると思います。僕は、これからの学校生活で誰もが感謝し、感謝される。みんながお互いのことを尊重できる学校を作っていきます。

最後にこのリーダー塾を開催していただき、本当にありがとうございました。中川塾長をはじめとする様々な方の講話。どれも考えは違うけれど、必要なものだと感じました。早瀬さん、僕は本当に泣いてしまいました。僕だけでなく、この経験は誰にとっても唯一無二のものだと思います。これからはずっと、ぎふ立志リーダー養成塾で学んだことを礎に成長していきたいです。感謝の気持ちでいっぱいです。ここで会えた仲間は、一生の宝物です!!本当にありがとうございました。

「僕が成長できたこと」

僕ははじめ、正直とても緊張していました。「チームで協力する」ということは知っていたけれど、果たしてその仲間とうまくやっていけるのか、自分の意見が伝えられるか不安でいっぱいでした。ただみんなは、初めて会った僕にも気軽に話しかけてくれて、僕は心から安心しました。そういった安心感を与えてくれる人がいてくれてとてもうれしく、同時に「自分もこうなりたい」と感じました。そのためにはやはり積極的に仲間に関わっていくことが大切だと思っていました。だからこそ、どんどん話しかけていきました。そういった姿勢はいつでも意識していきたいです。僕がこのリーダー養成塾に参加しようとしたのは、自分を変えていきたくかったから、他の人の生き方をもっと幅広く知りたかったからです。自分を変えることで今後の学校生活などがより豊かになると思ったし、他の学校の事を知ることで自分の学校にも取り入れられることがあると考えました。だからこそ、初めのうちから自主的に動けたのは良かったと思いました。

まず初めに学んだのは、中川塾長の講義にあった、リーダーについてです。特に心に残ったことが、大きく2つあります。1つ目は「感謝の心を大切にすること」、2つ目は「拍手をすること」です。1つ目の「感謝の心」は常に持ち続け、忘れないことが重要だとわかりました。感謝をする人は感謝されるという言葉聞いて、自分自身もリーダーとして感謝されるようになりたいと思いました。そのために大切なことが2つ目の「拍手をすること」だと思います。拍手は相手にする敬意だから、拍手をすることを通して感謝を伝えられるのだと知りました。また僕は、それらの拍手を自ら率先して行う行動力が重要だと思いました。今までの自分は一人だけ拍手をするこ

とを「恥ずかしいこと」と捉えていたけれど、自分が感動したもの・ことに対して拍手ができるというのはとても大切で、これから必ず行動していきたく感じました。中川塾長の講義で学んだ今の2つのことに加え、理想のリーダー像（1. 明確な指示や方針が出せる。2. 人の話をよく聞く。3. メモをとる。4. 慎重なうえに素早く正しい判断をする。5. 率先して物事に取り組む・行動を起こす）は自分だけにとどまらず、同じリーダーの仲間にも共有して、今よりもっと良い自分や学校・地域をつくっていきたいです。

次に僕が大きな影響を受けたのは、チームビルディングや白川村の課題解決に向けた企画提案での取り組みです。チームビルディングでは、自分の弱さを見つけることができました。相手に伝える手段がない中で、自分の考えに固執してしまい、他の仲間の思いを受け止められていませんでした。結果的にそれがチームの進行を遅らせる原因になってしまいました。ただ、弱さを見つけられたというのも自分の中で変化が起きた証拠だと思いました。この弱みを良くしていくことができれば、もっと人の話に耳を傾けられて、僕の理想像である、信頼される人により近づくことができるのではないかと考えました。そういった意味でも、このチームビルディングは自分にとってとてもプラスなものになりました。そして、企画提案に向けた取り組みの中でも学びが多くありました。チームで学年関係なく意見を出し合うことで、みんなの思いを知る事が出来たし、仲を深めることにもつながりました。僕のチームでは、自然とあるひとつのことが大切にされていました。それは「全員の意見を尊重する」ことです。決断をする時、誰か一人でも反対意見を持っていれば、双方が納得できる結論を全員で考えられました。そこは僕達のチームの強みではないかと思いました。人の意見を大切にできる力はリーダーとしてはもちろん一人の人間としても必要だと感じました。この経験は絶対忘れないようにしたいです。また、僕のような思いを持っている人はかなり多いと思うので、来年度以降も継続して行ってほしいです。

最後に心に残ったのは、提案するときのポイントなどを益川副塾長から学んだことです。意識することはたくさんあったけれど、その中でも一番は「バックキャスト思考」について興味を持ちました。普段の僕は「未来」を明確にせず「今」から手探りの状態で物事を進めていました。当然思い通りにいかないことや行き詰ることがほとんどでした。だから、この「バックキャスト思考」はかなり印象に残りました。いつもの自分から視点を変えて“あるべき未来像”“あるべき姿”から「今」を考える（未来を起点とする）ことで、しっかりとした道筋を立てることができ、計画通りにやり遂げることができると感じました。今僕は生徒会をやっていて、コロナによる制限が緩和されてから、今までになかった新しい活動を色々計画しています。そういう時は、先が見えず不安になることが多いです。しかし、この「バックキャスト思考」を活かすことで、物事が進めやすくなるのではないかと思いました。

このリーダー養成塾では、講義や活動から今後に活かせるようなことをたくさん見つけることができました。ただ、それ以上に良かったことは、この仲間、このチームで高め合えたことです。この仲間がいなければ今の僕はなかったし、この期間での成長や変化も感じられなかったと思います。みんなで励まし合い、協力し合ったことで、成長できました。この塾を開催して下さった方々や一緒になって話を聞いてくれたスタッフの方、そして仲間、全ての人に感謝したいです。当然この先再び出会う人、出会わない人がいると思います。ただ、お互い離れていても、この塾での思い出は絶対に消えません。また、僕自身もこの経験を無駄にしないよう学校でも地域でも信頼される、あの人なら任せられると感じてもらえるような人に成長していきたくたいです。大学生になったら、またこの塾を訪れて、今度はまた違った面でも学んでいきたくたいです。

「4 日間を振り返って」

私が考える、誰からも信頼されるリーダーは、仲間の関わりを大切に、判断力・行動力のある人、何にでも真剣に取り組みながらも「仕事」という認識ではなく、楽しみながらできる人だと思います。応募前、そんなリーダーになりたい、自分の学校を良くしたい、という気持ちの反面、校内で応募したのが私だけということや、完璧なリーダーが集まってきて、私がそれについていけるのか、などの不安もありました。しかし、何にでも自信を持って挑戦したいという思いや、先生からの後押しがあり、応募を決めました。

4日間、みんなで生活する上で重要な、関係を深めることを目的とした活動では、一緒に何かを達成する中で、自分の意見、感情を表現することの大切さを学びました。この活動で初日から仲が深まり、「グループ」から「チーム」へと成長することができました。また、このリーダー塾中、多くの方の講話を聴かせていただいて、その中で講師の方の「感謝をしない人は人からもされず、する人は人からもされる。感謝される人生を歩みたい」という話を聴いて、自分の生徒会の公約と重なる部分があり、心に残っています。他にも、世界で活躍するスポーツ選手がゴミ拾ったり、試合後のロッカールームをきれいにしたり、世界から賞賛されたという話を聴きました。小さなことも、リーダー(日本の代表選手)として必要だということを確認できました。そして本題である地域課題への企画提案では、はじめはまだ内容が薄い状態で、次の日の本番への不安や焦りがあったけれど、1人1人が意見を出しみんなの案を少しずつ取り入れて、1つの大きなもの作り上げることができました。そして、本番に向けて前日の夜と本番の朝に自主的に集まって練習し、発表に挑み、発表後はすごく達成感がありました。また、他に印象深かったのは、この塾に参加する前と後とのギャップです。行く前はなぜか、ずっと机に向かってみんなと話し合い、4日間休むことなく頭をフル回転させるというイメージがありました。でも行ってみたら、行きバスから初対面の隣の席の子とたくさん話ができて、特にチームビルディングやモーニングウォークは遊んでいるような感覚でとても楽しかったです。私は人見知りで初日からみんなのコミュニケーション能力に圧倒され、それが刺激になって、私も自分から話せるように心がけると、友達に「自分から話しに行ってもすごい」と褒めてもらえてうれしかったし、成長することができました。でもそれは、私が話に行くと、みんなが話を広げてくれたおかげだと思います。このように、私が勝手に思っていた堅苦しい感ではなく、友達もすぐにできて、大学生スタッフの先生たちもとても優しく安心して笑顔で楽しく活動できました。

この4日間の様々な活動を通して講話で学んだことをすぐに行動に移し、仲間に自分からかわりに行く力、小さなところへの気遣いをする力を身に付けることができました。このことを踏まえて、改めて私が目指すリーダー像は、仲間との関わりを大切に、判断力・行動力のある人、何にでも真剣に取り組みながらも「仕事」という認識ではなく楽しみながらできる人、に加えて瞬時的に確かな指示を出せる人です。相手が不安になるようなその場しのぎの指示をするのではなく、慎重なうえに素早く確かな判断ができるリーダーになりたいと思います。

また、このリーダー塾では、リーダーとしてのことだけでなく、これから生きていく上で大切なことも学びました。その中で1番心に残っているのは、「ないものねだりではなく、あるもの活かすをする」ということです。何においても人間はないものねだりですが、逆の考え方で、あるものを活かして完璧なものをつくることはとても大切だと思いました。

リーダーをしていると、人前で話す場面がよくあります。そんなとき、話すことを意識しすぎて、相手を見られていないことがあり、相手が正確に理解できているか、心配になることもあります。それを改善するために、これからは、発表のリハーサルで学んだ「see show speak」まずは相手の方を見て次に資料見せてから話すという順番を守って話せるようにしたいです。今、リーダー塾が終わって帰ってきて感じたことは、4日間夜遅くまで企画や発表原稿を考えてもちろん大変だったけど、その大変さを忘れるくらい本当に楽しくて、あっという間の4日間でした。お別れを考えると悲しくてみんなで泣いたり、最終日の閉塾式の代表の話をさせてもらったときも、みんなの前で大号泣しながら話したり、それも本当に良い思い出で、このとき改めて参加できて良かったと思いました。また、空いた時間にリーダーならではの悩みを共有して共感し合い、各学校で行っている活動を知れて、私の学校でも取り入れてみたいことがたくさんあり、すごく有意義な時間になりました。

このリーダー塾で学んだことを今後自分のものにし、私が目指すリーダー像に近づけられるように、そして私の学校をより良くできるように、日々努力していきたいです。

最後に、今回一番大切な存在だった、4日間一緒に頑張ってきた仲間は、みんな尊敬している子たちばかりで、出会えてよかったと本当に思います。帰って1週間経っても写真を見返したり、SNSで話したりしています。みんなと活動してきたこの4日間の全てが、私にとって良い経験で一生の思い出、宝物です。

まだチャンスがある1、2年生には全力でおすすめしたいと思います。このぎふ立志リーダー養成塾に関わっていただいた多くみなさん、そしてなにより一つの目標に向かって一緒に努力してきた仲間、本当にありがとうございました。

「楽しかったぎふ立志リーダー養成塾」

私がぎふ立志リーダー養成塾に応募したのは、生徒会のメンバーの中では集会など人前で話したりすることが得意ではなく、クラスや班でグループワークをしたりするのも苦手で、沈黙になることもよくありました。それで悩んでいたときに先生に「ぎふ立志リーダー養成塾に行ってみない？」と声をかけていただき、ぎふ立志リーダー養成塾について調べたり先輩に聞いたりして、ここでなら人前で話したり、グループワークが苦手なのを少しでも克服できるのではないかと思います。応募しました。

初日、バスに乗っている間は非常に緊張していたけれど、チームビルディングなどで初対面の人やグループのメンバー以外にも早く打ち解けることができました。何度か足を引っ張ることもあり、グループのメンバーには初日から迷惑をかけてしまい申し訳なかったです。

中川塾長の講義では、人の話をよく聞くことや、メモを取るなどリーダーとして大切なことを多く学ぶことができました。そして拍手など、人への感謝の気持ちの重要性はこの講義を受け、さらに深まりました。その他にもいじめはいじめられる側の気持ちがわからないから起きてしまうことや、自由についてなど私が知らなかったことを多く知ることができました。足を引っ張ってしまってグループのメンバーには初日から迷惑をかけてしまいましたがメンバーと意外にも早く打ち解けることができ、1日目はいいスタートダッシュを切ることができました。

2日目は朝から白川郷に行き観光大使たちによって白川郷の観光スポットや、合掌造りでの生活などについて多くのことを教えていただくことができました。新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年以降観光客が大幅に減少してしまい、2021年はデータなしにするほど外国人観光客が減

ってしまっていたので観光客は少ないと思っていたけれど、国内外問わず多くの観光客が来ていてとても驚きました。新型コロナウイルス流行前は、中国人などのアジア圏の人が多くイメージだったけれど、実際中国人はそこまで多くなく、ヨーロッパ圏の人や韓国人が多かったのは少し意外でした。最初のほうは観光客もたくさんいて課題点はそこまで見当たらなかったけれど、トラックと地元の人とで少しトラブルがあったりなどちょっとした課題点をいくつかみつけることができました。

午後の講義では、白川郷の観光客数をグラフ化した資料や、過疎化の影響の深刻さを画像などを使って非常にわかりやすく説明してくださいました。そして第6次産業など今白川村が取り組んでいる新しいものを知ることができたことによって、その後の活動がとてもしみやすかったです。義務教育総括監のお話では、みんなちがってみんないいのよさや、「みんなちがって」の後に入る数文字の言葉によって、意味が大きく変わってしまうことや、少し読み方を変えるだけで、大きく感じ取り方が変わるなどの面白さを学ぶことができました。

夕食後は地域課題への企画提案が始まりました。グループのメンバー全員で、付箋に白川村の現状、課題点、原因をだせるだけだし紙に貼り付けて現状、課題点、原因に分けて、それをホワイトボードにまとめていくなか、産業は、過疎化問題＝人手不足問題＝観光業など多くの問題を解決しない限り、産業の発展させることはできないということがわかり、産業の発展の難しさを痛感しました。2日目は地域課題への企画提案を、ホワイトボードにまとめてわかりやすくするところまでできたため、3日目の作業が非常に行きやすかったです。

3日目はモーニングウォークでは、たくさんの自然に触れることができました。日頃名前をよく聞くけどにおいを嗅いだことがなかった植物のにおいや、キツツキなど森にすむさまざまな鳥の鳴き声を知ることができました。中でもグループのメンバーが途中で拾った割れたくるみが自然に割れたか、リスが割ったかをモーニングウォークの最初にあったくるみの割れ方のお話からどちらで割れたのか話していたのが印象的でした。

モーニングウォーク後の地域課題への企画提案では、新たに出た意見をまとめ、課題点と原因を踏まえ6次産業を発展させるには、第1次産業、第2次産業、第3次産業のすべてがかかわっているため産業全体を活性化できるという結論になりました。第6次産業の発展につながるプロジェクトに何が必要かなどを話し合い、みんなでPowerPointを使ってスライドを作りました。夕方のリハーサルの前にスライドが完成することができ、何度か台本の読み合わせもできました。

益川副塾長のお話では、私が苦手であるグループワークでの大切にすべきことや、バックキャストなど知らなかったことを多数知ることができ非常にためになりました。益川副塾長のお話の後はお風呂の時間の直前まで、益川副塾長にリハーサル時にご指摘いただいた箇所を修正したりなどしました。

4日目は早めに荷物をまとめ、談話室で台本の最終確認や読み合わせなどを行いました。他のグループの発表では、今あるものを最大限活用してあったり、グラフが事細かに分析されてあったり、課題点がとても簡潔にわかりやすくまとめられていました。ミニ合掌造り体験など自分もぜひ体験してみたいものがあったり、自分たちのグループにはなかった興味を引くものが多数ありました。私は発表の時緊張してしまい早口になってしまったけれど、途中で気が付いて修正でき、自分たちでーからグループで話し合ったりして考えたりしたものを発表することの楽しさが少しわかりました。

ぎふ立志リーダー養成塾が終わり、学校が始まった後の学校でのグループワークでは、益川副塾長のお話で学んだことが活かせ、前よりは何倍もよいグループワークを行うことができるようになり、ぎふ立志リーダー養成塾で学んだことを学校で活かすことができました。私はぎふ立志リーダー養成

塾で学んだグループワークや、リーダーとして、人として必要なことを日々の学校生活で活かしている、苦手だったグループワークを中心に積極的に参加し、怖がらず人前でどんどん意見を発し、学校をよりよい場所にしていけるようにしていきたいと思っています。

ぎふ立志リーダー養成塾の開催をしてくださった県の職員の皆様、学生スタッフの方々と中川塾長をはじめとする講師の方々、協賛してくださった方々、本当にありがとうございました。

「信頼されるリーダー」

僕は生徒会の副会長に今年からなりました。リーダーとして意見をまとめたりする機会が増えるようになって、困ったことも出てきました。それは、みんなが納得できるように意見をまとめることです。どうしても1人の人が良いと思っても、もう1人の人は良くないと思うことがあり、うまくまとめることができないことがありました。

香田先生の講話の中で、自分はどんなリーダーになりたいかを書く場面がありました。それまでの話を聞きながら、僕は全員を100%納得させることも大切だけど、誰かが嫌な思いをするよりも、折り合いをつけて全員がよい思いで話がまとまるのが大切だと考えました。

そこから企画提案のとき、嫌な思いをする人がいないように意見に対して反応し、相槌をうつことを意識しました。理想のリーダーに近づけるようにこのようなことを学校の日常生活でも大切にしていきたいです。いつも何かうまくいかないことがあったときに落ち込んでしまって次につなげられないことがあるので、失敗してしまったときに、何が良くなかったのかを考えて次につなげられるようにしたいです。

みんながなるべく納得できるようにみんなの意見を一人一人聞きながら、良いところを取り上げて、上手くまとめられるようにしたいです。

この塾を通して、今まではどうすればよいかわからなかったこともあったけど、実際にリーダーとして活躍している方々の話を聞かせて頂いたり、質問をさせて頂いたりして、多くの学びを得られたので、このことを学校でも意識して生活したいです。

「積極性・協力性の大切さ」

私は、リーダー養成塾を終えて、仲間と協力することの大切さや、自分から積極的に行動することの大切さなどを他校の仲間たちと、楽しく学ぶことができました。

まず、1日目の中川塾長のお話の中で、いじめなどの課題を防ぐには「みんなで助け合う、みんなで議論する」ことが大切だと学ぶことができたり、チームビルディングやグループワークなどで、チームの仲間と協力して、一つの課題を達成するために、一人ひとりが自分にできることを見つけて、率先して動いたりしました。こうした姿から、仲間と協力して、一つの課題を解決することの大切さを学びました。

また、「感謝が大切」ということもとても印象に残ったので、これから、自分と関わったことやもの、人に対して丁寧に感謝できるようにしたいです。

1日目を通して、学校生活でも、グループの仲間や学級全体で協力して課題を解決したり、「リーダー」という立場にいることを自覚して、リーダーとして「今何をしたらいいのか」「どんな行動が周りから求められているのか」を考えたりして、率先して自分から行動できるようにしたい

です。また、リーダーとして大切なことや、理想のリーダー像などについても学ぶことができたので、それを活かして、仲間に信頼してもらえようなリーダーになれるように頑張りたいです。

次に2日目では、白川村の小学6年生の皆さんに、白川村のことや、合掌造りのこと、文化や歴史のことなどについて、約40分間私の知らない情報や地域の人たちの思いなどを教えてもらうことができました。また、白川村は初めてだったので、観光しながら楽しく学ぶこともできてよかったです。柴原さんの講義では、白川村の課題や現状、今行っているプロジェクトや対策などを知ることができました。

そして、香田先生の講義では、金子みすゞさんの「小鳥と鈴とそれから私」の詩を使って、みんなそれぞれの個性や、考え方が異なるからこそお互いに良いところを見つけ合い、認め合うことができるという良さがあることを知ることができ、話し合いをするときに、みんな違う考え方が異なるからこそ、広い視点から、色々な意見を出し合い、最初の自分の意見よりも、さらに良い意見にすることができると感じました。

このとき学んだこと・思ったことを活かして、今後の学校生活でも率先して、積極的に意見を言ったり、行動したりしていきたいです。また、自分の意見を話すだけでなく、他の人の意見を聞いて、考えを深めていきたいです。

3日目では、次の日の企画提案に向けて、1、2日目で学んだことを活かしながら、グループみんなで提案を考えたり、発表の構成を考えたりすることができました。また、一人一人の原稿を考えるとき、各自で行うのではなく、みんなで相談したり、アドバイスをし合ったりして、みんなで決めることができました。

4日目の企画提案発表会では、ぎりぎりまでみんなで練習して、本番の発表で、一人一人が自分の役割をしっかりと果たすことができてよかったです。最初は、初めて出会った人たちの集まりでしたが、同じグループの仲間と過ごす中で、お互いの仲を深めて、一人一人が声を掛け合える存在になれて、とても嬉しかったです。

今回のぎふ立志リーダー養成塾を通して、一緒に活動する仲間と、支えてくれる人の大切さ、そして、その人達はもちろん、どんなささいなことでも感謝をすること、リーダーとして自分から率先して動くことの大切さなどを学び、身につけることができました。

この経験を活かして、今後の生活でも、3つのことを意識して生活していきたいです。

「立志塾への参加を通して」

私は現在、生徒会執行委員を務めさせて頂いており、広い視野で物事を捉えることの大切さや、行動や発言においての責任の重さ、そもそも1から作り出すことの難しさを知りました。よって、立志塾を通して広い視野で物事捉え、1から作り出す力や、下調べや話し合いの中で自分の考えに自信を持って行動、発言する力を伸ばしたいと考えました。

私は最初の開塾式から緊張により出席することができず、ご迷惑をおかけしてしまったかと思っています。温かい対応をして頂き、本当にありがとうございました。そんなドキドキ一杯のなかで、中川正之塾長の講義を迎えました。中川塾長の講義内容はとても分かりやすく、「なるほど！」の連続で、緊張が自然とほぐれました。その講義の中で私が特に印象に残っている内容は、「人として大切なこと」です。まずリーダーである前に、私達は1人の人間であり、リーダーとして大切なことの前に、人として大切なことがあるということに気づかされました。例えば感謝の気持ち

を伝える手段の一つである「ありがとう」という言葉、拍手。こういった小さなこと、ささいなことでも簡単に気持ちを伝えられるけれど、あたりまえじゃないということにあたりまえに感謝することができなければ、感謝を行動で示すことができないと考えます。だからこそ、普段の生活の中でささいなことに感謝できるようにしたり、勇気を持って行動に移せたりできるようにしたいと感じました。

養成プログラム①の「チームビルディング」では、出会ったばかりの仲間と協力して取り組みました。特に印象に残っているのは、名前を呼びながらキャッチボールをするというものです。プログラムに参加する前は、同じチームのメンバーの名前がまださっと出ず、「ねえねえ」などと声をかけていたけれど、名前を呼びながらキャッチボールすることで自信を持って名前を呼ぶことができるようになり、心の距離を縮めることができました。このチームビルディングを通してDグループからDチームになれたのではないかと思います。

プログラム②の「グループワーク とリーダーシップ」では、パーツを移動させることしかできない中で、どうにか自分の意思を伝えようとパーツを渡してみたり目配せをして自然と伝えたいことが表に出てしまったりとお互いに自分が伝えたいことを理解してもらいたい！相手が伝えようとしていることを理解したい！と強く思い、お互いが分かり合おうとしました。しかしとても難しく、2時間もかかりました。それにより、完成した時の達成感や、伝えたいことを伝えられるということがとても嬉しくて、それまであったチーム内の壁が消え、思ったことをしっかりと伝え合える関係性を築くことができました。

2日目の養成プログラム④「地域リーダーに学ぶ」では 柴原さんの話を聞いて、始めて第6次産業というものを知りました。これは、第1次産業、第2次産業、第3次産業すべてを活用し、経済を循環させることで、地域を発展させていこうというものです。私達、Dグループのテーマは「産業」だったので、この『第6次産業の発展』を最終目標にかけました。それにより、考えなければいけないことを明確にすることができました。

香田先生の講義では、「人と人の違いを認める」ということがとくに印象に残っています。人それぞれ違うというのはあたりまえのことだけれど、それを認めることはとても難しいことで、それによりなかなかうまくいかないこともあると思います。実際Dチームでも、なかなか考えが噛み合わず話し合いが進まないことがありました。そんな時、誰も投げやりにならず、お互いの考えをよくきいて、少しずつでも前に進むことでより深く、意味のあるグループワークを創り上げることができました。さらに、Dグループは誰か1人中心で行うのではなく、6人全員がリーダーとなると共にサポーターにもなり、自分の意見を持ちつつも仲間の意見を尊重するということが全員できていました。それにより、全員が話し合いに参加し、誰か一人でも欠けたら完成しないプレゼンを完成させることができました。

私は数々のプログラムや仲間のおかげで、「多くの人に支えられて 今の自分があるのだ」と考えるようになりました。それにより、様々な 出来事に感謝する気持ち、大切にしようとする気持ちが強くなり、リーダーカと共に人間力を高めることができたと感じています。私はこの立志塾で学んだこと感じたことを踏まえてリーダーとして、また人として、他の人の意見を尊重したり、素直に感謝したりすることのできる温かい心の持ち主になりたいです。さらに、立志塾で特に実感した、人それぞれ感じ方、考え方が違うからこそそうまれるものがあるということを今後活かしていきたいです。そのために、話し合いでは、リーダーとして多くの人が考えを言えるような雰囲気をつくりたいです。地域活動では、他校と関われるイベントを開くことができると考えま

す。

このたびは貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

「ぎふ立志リーダー養成塾で」

私がリーダー養成塾に参加した理由は、私が思うリーダー像である「コミュニケーション能力が高く、みんなの意見に耳を傾ける」に近づくため、そして、私が学校の外でどれくらいやっていけるのか知りたかったからです。

リーダー養成塾で学んだことは沢山ありますが、特に印象に残っている4つの事があります。1つ目は、仲間と協力することの大切さです。リーダー養成塾ではテーマに添った企画をグループで提案するため、沢山のグループワークの時間がありました。そこでは一人で考え込むのではなく、仲間と協力し企画提案を考えました。最終的に完成した企画提案は本当に素晴らしいもので、仲間と協力したおかげで創り上げられたのだと思いました。

2つ目は、「みんなちがってみんないい」ということです。これは香田先生の講話で扱った「私と小鳥と鈴と」の詩の一文です。みんな違うからこそいいと学びました。これからは、他の人と違うところがあってもそれが私の良さだと思えるようにしたいです。そして、この話は小学校3年生のときに国語で学んだことがありましたが、今になってもう一度読んでみると、その時とは違う解釈の仕方や違う見方ができ、1回やったことがあることでももう1回やってみるとよいとわかりました。

3つ目は、他者を意識したプレゼン資料の作り方です。書体や背景にユニバーサルデザインを意識し、フォントの種類や色遣いにしました。文字は長々と書くのではなくキーワード、一番伝えたいことを端的に書くということを学びました。このことは学生スタッフに教えてもらいプレゼンで活かすことができたのでよかったです。

4つ目は、周りを見るということです。周りを見ることによって今まで気づけなかったことに気づけました。リーダーたる者視野を広くすることを学びました。リーダー養成塾では、リーダーの事だけではなく、これから必要になってくる事や、人間関係など重要な事を学ばせていただきました。

そしてリーダー養成塾で印象に残っている事は、リーダー養成塾に来ていたみんなの話し方がとても上手だったということと、とにかくみんなと過ごした時間がとても楽しかったということです。みんなの話し方はとても聞きやすく説得力のある内容だったため、私もみんなのように話せるようになりたいと影響を受けました。出会ってから4日間でこんなにも、仲良くなれるとは思っていませんでした。みんなと出会えてよかったと本当に思ったので印象に残っています。

リーダー養成塾の4日間を通して成長できたと思ったことは2つあります。

1つ目は、自分から意見を言えるようになったことです。リーダー養成塾が始まってすぐのグループワークや全体での意見交流では、自分の意見に自信をもつことが出来ず、意見を言うか躊躇してしまいました。しかし3日目のグループワークでは少しずつ意見が言えるようになり、4日目の全体交流では自信をもって自分の意見を言えるようになっていました。このように成長できたのは背中を押してくれた学生スタッフのおかげです。

2つ目は、沢山の仲間と関わるということです。私は学校生活の中では、特定の子と授業中の自由交流や休み時間などずっと一緒にいます。しかしリーダー養成塾の中では、より多く人と関

わる事ができ、より多くの発見をすることが出来ました。沢山の人が話しかけてくださり、私も色々な人に話しかけようと成長できたと思っています。

この2つの成長は私に関わってくれた仲間やずっと側にいてくれた学生スタッフのおかげです。みんなには本当に心から感謝をしています。

この先どんなリーダーになりたいか。私はこの4日間でこの人みたいな人がリーダーだと言えるんじゃないのかなと思う人がいました。その人は私たちBグループのリーダーです。Bグループのリーダーは率先して意見を出し、見通しをもって計画し、明確にグループのメンバーに指示を出していました。そのリーダーがいたからこそ私達は協力して一つの作品を作り出せたと思います。だから私はこの先、Bグループのリーダーのようなリーダーになりたいと思いました。

リーダー養成塾で学んだことを今後の自分の生き方にどのように活かしていくのかでは、先ほど書いたリーダー養成塾で学んだことには書いていませんが、塾長の講話で学んだリーダー像というものをまずは普段の生活に取り入れていこうと思います。①明確な指示、発言②その場しのぎの事を言わない③人の話をよく聞く④メモをとる⑤結論を先送りせず素早く判断⑥率先して行動をおこす、この6つの事を取り入れています。

学校の中で実践していくことは、積極的に意見を言うことです。リーダー養成塾をとして自分の意見を言うということができるようになりました。出来るようになったことをより良いものにしていくために学校生活でも引き続きやっていきたいと思っています。

私はリーダー養成塾が終わった今、思っていることは沢山あります。今一番思っていることは本当に本当にリーダー養成塾に参加できてよかったと思っています。これからもずっと仲良しでいたいと思える仲間に出会ったこと、自分自身色々な刺激を受け成長できたこと、リーダー養成塾で経験したこと全てが宝物になりました。

リーダー養成塾を勧めてくれた先生、リーダー養成塾に行かせてくれた両親、リーダー養成塾を運営してくれた県スタッフ、トヨタ自然学校のみなさん、リーダー養成塾に参加したみんな、そして何よりも学生スタッフのかた、Bグループのみんなに本当に心から感謝をしています。

最後に、リーダー養成塾のBグループの良いところを書きます。

Soさんはリーダーとしてチームのみんなをまとめてくれました。Soさんの話はすごく興味をもたせてくれます。Seさん、Seさんは周りを笑顔にさせてくれます。Yさん、Yさんは積極的にとても良い意見を言ってくれます。Aさん、Aさんは周りが見えていて率先して手伝ってくれます。Yさん、Yさんはコミュニケーション能力が高くて誰にでも話しかけます。Sさん、Sさんは教え方が上手でSさんの優しさで周りにはずっと人がいました。Kさん、Kさんは視野が広くて、メンバーのちょっとした変化にも気づいてくれます。

もう1回書きますが本当にみんなに出会えてよかったです。ありがとうございました。

「新しい可能性」

私が立志塾に参加した理由は自分がリーダーとしての力を仲間と活動する中で伸ばしていきたいと思ったからです。私が目指すリーダーは、どんな仲間にも寄り添うことができ、自分の思いを素直に伝えて良い方向へと導くことができるリーダーです。それに近づくために、この立志塾に参加して、相手目線になって考え、素直な自分の意見を出せるような力を伸ばしたいと思いました。

1 日目の活動では、中川塾長からのリーダー像ということを知り、「明確な指示や方針が出せること」、「人の話を聞くこと」、「メモをとること」、「慎重で素早い判断をすること」、「率先して物事に取り組むこと」、この5つが必要なことだと学びました。また、チームビルディングを通して、自分に足りなかったリーダー性や、「グループ」としてではなく、「チーム」として活動することが大切だと気付くことができました。特に印象に残っていることは、仲間と過ごした日常の何気ない時間です。周りに知らない学校の子ばかりで同じリーダーという立場だからこそ、互いの悩みを打ち明けたり、取組について話したりして、新しく学んだことや、互いのことをたくさん知ることができました。

2 日の活動では、0 から 1 を作り出す難しさについて実感しました。企画提案の内容を考えはじめるときだったので、1 番大変だったと思います。明確な企画提案をしなければならないし、白川村の人口と世界遺産を両立していくことはとても難しいことでした。そんな中でも付箋を使って、たくさん仲間とその付箋の内容を交流しました。ときには意見が 2 つに割れたときもあったけど、お互いの意見を否定せずに、自分たちの考えをたくさん出し合って、みんなが納得するような方法で協力してがんばったことは今でも心に残っています。

3 日目は仲間と協力していく大切さを学びました。企画提案をするために本当に短い時間で内容も原稿もプレゼン資料も 1 からつくらなければならなかったのも、とてもたいへんでした。そんな中でも分担をして互いの役割を決め、ときには「こんなことしたらいいんじゃないかな?」と、どんどんアイデアを共有して、大変ながらもチームで楽しくすすめていったことが心に残っています。また、時間がとても短かったため、「この時間に集まって練習しない?」と、すきま時間を見つけてたくさん練習を重ねました。1 人の考えだけでなく、チーム全体の考えを重ね合わせることで、1 人では絶対につくりあげることのできない企画ができました。この 3 日間はチームとしての力を合わせることで、大きな進歩となりました。また、3 日間を振り返る時間では、すごく感動して、これだけチームで協力してきたからこそ、感謝の気持ちがたくさん溢れて、みんなで泣いたことを覚えています。

4 日目は本番当日で、朝から時間を見つけてリハーサルを行いました。朝はとても緊張していたけれど、朝食の時間にたくさん笑い合っただけで少し緊張がほぐれました。そして本番を向える前、みんなで円陣を組んで、気持ちを合わせました。発表中、プレゼンデータが動かないというトラブルがある中でも無事に成功することができ、今までで一番良い発表の仕方だったと思います。思わず目がうるんだことが心に残っています。そして閉塾式、大学生スタッフ、生徒代表の言葉でたくさんの方が涙していました。たった 4 日間だけれど 4 日間がとても濃いもので、どの瞬間を切り取っても、私にとって大事な思い出です。そして仲間と感謝の気持ちでいっぱい、たくさん学ばせてもらって、今ではとても大切な友人です。そんな 4 日間を通して、自分の考えを自分の中でとどめるだけではなく、積極的に発信していく力がつきました。また、チームの仲間から、明るさ、積極性、仲間の考えを引き出す力など、自分に足りなかったリーダー性も活動していく中で学ぶことができました。最初の自分は殻に閉じこもっていて、どこかぎこちない部分がありました。でも、それを破って成長することができたのは、仲間のおかげです。1 人 1 人に良さがあって、その良さが違うからこそここまで来ることができたと感じています。本当にこの 4 日間は刺激的で仲間の良さを見つけることはもちろんだけれど、自分の良さにも気づかされました。そこで、見つけた良さは、どんな物事にも積極的に参加し、前向きに捉え続けることができることです。だからここで学んだことを、この 4 日間だけではなく、学校生活にも活かしていこうと思います。この先、私は「仲間の意見を引き出し、良い雰囲気を生み出すことができるリーダー」になりたいです。立志塾を通して周りの仲間がとても良い雰囲気を生み出しているのを見て、私もそんなリーダーになれたらなと感じました。また、チームのリーダーは仲間

の意見を引き出すのが上手で、チームを導いてくれました。だから私もそんなリーダーを目指したいです。この4日間の仲間の姿を思い出して、その仲間のリーダー性を取り入れて、今までの自分よりも成長した自分になることができるようにしていきたいです。

「ぎふ立志リーダー養成塾を通して」

僕がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加したのは、自分のリーダーとしての力をさらに磨き上げたいからです。参加する前の僕はグループでの活動が苦手でした。自分が話し合いの司会をやると、なかなか意見が出なかったり、意見がまとまらず、みんなが納得する結論がでなかったりと、上手く進めることができませんでした。そんな自分を変えようと思い参加を決めました。周りとの繋がりを学ぶという目標を持ち、参加しました。

このぎふ立志リーダー養成塾で特に心に残っていることは2つあります。

一つ目は、中川正之塾長の講義です。中川正之さんはこのぎふ立志リーダー養成塾の塾長をしており、中小企業の社長もされている人です。そんな社会のリーダーを務めている人の話を聞きました。その話の中で「感謝できない人は、相手からも感謝されない。感謝する人は、相手から感謝される」という言葉が印象的でした。仲間に感謝できないリーダーは、この先誰からも信用されない。この人についていきたいと思われことはない。でも、仲間に感謝するリーダーは仲間から、ついていきたいと思われ、仲間とのつながりを深めることができる。こういった意味がこの言葉には込められています。どんなことでも、その裏には絶対に努力してくれた仲間がいます。だからその努力を見つけ感謝したり、どんなささいなことでも感謝したりすることで仲間とのコミュニケーションをとることができます。これからは仲間の良さや努力を見つけ、積極的に感謝していこうと思いました。また、「誰が正しいかではなく、何が正しいかを見極める」という言葉も印象的でした。話し合いなどで、あの人の意見は正しい、あの人がいったから正しいと考えてしまうことが良くありました。でも本当に大切なのは、その意見が本当に正しくて、一番良いものなのかをよく考えて、実際に自分で見たり、聞いたり、感じたりすることだと思いました。その思考や行動がないと、よりよい考えを生み出すことはできないし、正しい判断はできないと思いました。自分で実際にその人の立場になり、考えてみることをこれからはしていきたいと思いました。

2つ目は、地域課題への企画提案に向けてのグループでの活動です。このぎふ立志リーダー養成塾では、最終日にグループでのプレゼンがあります。そのプレゼンの準備を0からグループで協力して作り上げていきます。もちろん、準備時間は限られており、スムーズに進めなくては、発表に間に合いません。最初にそのグループのグループリーダーになる決意をして、手を上げました。でもやはり周りはまだ一日しか共に過ごしていない仲間なので、緊張してしまい、いつものように話し合いがスムーズに進みませんでした。そこで自分の話し合いの進め方を改めて見つけました。僕はその地域の課題をとらえ、その原因を細かく分析して、どんな対策をしたらよいかを考えると進め方をしていました。だから対策を考えるのが難しく意見が出てきませんでした。そこで今までのぎふ立志リーダー養成塾の講義の中で身につけた「バックキャスト思考」を取り入れました。バックキャスト思考とはありたい姿・あるべき姿などの未来像を考えて、その未来像に近づくために何をしたらよいかを考えることです。この考え方を軸に

話し合いを進めることで、より良いプレゼンを創り上げることができました。もちろんすべてにおいてバックキャスト思考をすればいいというものではありません。課題や原因を見つけるやり方、バックキャスト思考をするやり方、どちらともにそれぞれ違った良さがあります。本当に大切なのは、どちらがその場に適しているのかを自分で考え、判断して使い分けることだと思いました。

このぎふ立志リーダー養成塾で本当にたくさんのことを学び、たくさん思い出ができました。特に最後に同じグループのみんなに「蒼大がリーダーでよかった！ありがとう！」と言われたときは涙が止まりませんでした。この言葉はこれからの僕のリーダーとしての生活で一生忘れられない言葉です。ぎふ立志リーダー養成塾で出会った仲間は一生の宝物です。これからはこの経験で得たものを必ず自分のリーダーとしての生活に活かしていき、胸を張って堂々と歩み続けたいです。ありがとうございました。

「特別な経験を通して」

私は、小学校時代からリーダーという役割を担うことが多かったです。また、学校では色々な考えを持った人がいて、その考えをどのようにまとめ引っ張っていくべきなのか悩んだり、自分以外のリーダーはどう考え行動したりしているのか知りたかったことや、リーダーに必要とされていることはどのようなことなのかも知りたかったため、今回のぎふ立志リーダー養成塾に参加を決めました。私が目指すリーダー像である「見通しを持ち自分から積極的に考え行動に移すリーダー」に近づくために今回の塾をとおして、先を見通す力や自主性を伸ばしたいと思いました。

初日のオリエンテーションでは、初めて出会った仲間とチームのリーダー決めがありました。普段学校でリーダーのなかのリーダーをやっていたため、リーダーのサポート側に回ってみようと思い、チームのリーダーをやりませんでした。一番初めに仲間に話しかけたり、自己紹介をしたりして自主性を少し伸ばすことができました。

塾長講義では、5つの求められているリーダー像についての話が心に残っています。その中でも、人の話をよく聞くことがとても大切だと塾長自身の経験から、より知ることができました。それによって、リーダー像がより明確になりました。また、「感謝する人は、感謝される人」「拍手されないよりされる人生の方がいい」という言葉を聞いて自分の中の考え、生き方に取り入れたいと強く思いました。

夕方からの「チームビルディング」や「グループワークとリーダーシップ」のプログラムでは、沢山のゲームを通して、グループからチームへ変化し、それぞれの仲を深めることができました。図形を組み立てるゲームでは言葉を出してはいけないという制限で取り組み、自分は一生懸命取り組んでいる時、すぐに相手に口出しをしたくなる性格であると自己理解することができました。

2日目の「世界遺産に学ぶ」では、1日目の講義で聞いた話を活かしながら、人の話をよく聞くことを意識して取り組みました。普段触れることのない白川郷について、沢山のことができてとても楽しかったです。地域リーダーの話では具体的な数値や情報をもとに詳しく白川郷について知ることができて企画提案を考える元として活かせたので良かったです。

義務教育総括監の講話「リーダーとして期待すること」では、国語の授業を通してリーダーに必要とされている資質・能力は何なのか、それぞれの人に違いがあるということは良いこともあるということを知りました。本格的に始まった「地域課題への企画提案」では、自分から進んで

司会進行をしながらそれぞれの意見を引き出そうとしました。しかし、あまり意見がまとまらないこともありました。でも、時間が過ぎるまで考え抜くことができました。

3日目の「地域課題への企画提案」では、より具体的に企画を考えました。その中で、それぞれの意見を取り入れたり、沢山の案が出てきたりして良い流れにすることができました。少し流れが止まってしまったときも同じチームの仲間が動いてくれたおかげで進めることができたので、自分ももっと頑張ろうと感じることができました。

4日目の発表では、自分たちが考えた企画案に自信をもって提案することができました。

これまでのプログラムを通して「慕われるリーダー」になりたいと思うようになりました。そのために、学んだリーダー像である、人の話をしっかり聞くことや、明確な指示や方針を示すことを常に意識して学校でも過ごしていこうと思いました。

講話で印象に残った言葉や影響を受けた言葉を自分の生き方につなげていきたいと思いました。誰が正しいかではなく、何が正しいか見極めることなどとても大切だと学んだので意見をまとめるときに多数決なのか声をあげた人なのかではなく、内容で判断したり、状況にあったものを選択したりできるようにしていきます。また、リーダーとして組織を活かすために、話しやすい雰囲気づくりをし、段階を踏んで目標達成に向けて頑張ろうと思いました。今回の塾で伸ばしたいと考えていた、先を見通す力や自主性は以前よりも仲間と3泊4日過ごしたことで伸ばすことができました。3泊4日で多くの講師や仲間から刺激を受け、自分の成長につなげることができました。これからは多くの仲間から刺激を与えられる存在になりたいです。

「成長したこと」

まず、このリーダー養成塾に参加した理由は、まだ自分にはリーダーとして足りない部分を学び、これからの学校生活や日常に活かしていきたいと思ったからです。また、初めてあった人にも自分の意見が言えるような勇気や自信をつけたいと思い、参加しました。

中川塾長の講義で学んだことは、「リーダーに大切な5つのこと」です。1. 明確な指示を出せる。2. 人の話をよく聞く。3. メモをとる。4. 素早い判断ができる。5. 率先して物事に取り組む、の5つの事を聞き、自分に足りていないものが明確に分かり、これから意識して過ごそうと思いました。また、チームビルディングでは、仲間と協力して作業を行う中で、自分の気持ち、思いを伝えることの大切さ、難しさを学びました。しかし、このチームビルディングがあったからこそ、グループの仲も深まり話しやすい環境になっていったのだと思いました。これがあって3泊4日を楽しく過ごすことができました。そして、2日目の夕方から始まった、「地域課題への企画提案」をつくっていくことは、僕にとってこの研修の中で、1番の学びがありました。それは、仲間と協力すれば、どんな壁でも課題も乗り越えられるということです。企画提案をつくっていく中で、自分が苦手な原稿づくりやプレゼンづくりがありました。自分一人だけでは、できないので他のグループのメンバーにも手伝ってもらい、その間に僕は意見や考えをみんなに伝えたり、作業が進んでいなかった人がいたら助けたりと、グループの仲間同士で助け合うことができました。ここで学んだことは、ひとりではできないことがたくさんある。でもみんなが集まって協力し合えば、どんなことでもできるということです。人それぞれ、違う個性や特性を持っているので、この「企画提案」の発表内容を考える中で、仲間と協力することの意味、重要性を学びました。

このような体験を通して、僕が成長したと思うところは、やっぱり人前で話そうとする勇気ができたことです。初日では、講義の時に講師の先生が質問した時にも、しっかりと自分の意見があったのに、1歩踏み出す勇気が出ず、ビビっていました。でも、リーダーとして、みんなと過ごし、学んでいくうちに、自分になかった勇気も湧いてきて、最終日の意見交流の時には、1番初めに挙手・発言ができました。これは、自分にとってとても成長した部分だと感じました。

そして最後にこの研修で学んできたことをこれからの学校生活や日常にも活かしていきたいと思います。例えば、生徒会での話し合いで、うまくみんなの意見がまとまらず、場が滞っているとき、自分がみんなの考えをより深く聞き出せるようにしたいのです。また、この研修を通して、自分の理想とするリーダーには何が足りないのかを知ることができたので、これから生きていく中で、その足りていないものを意識して生活すれば、よりリーダーとしてもレベルアップできるので、一生懸命頑張っていきます。そして、今よりもリーダーになります。

「4 日間で身につけた力」

今回、ぎふ立志リーダー養成塾に参加したのは、学校で生徒会長という、大事な立場にいるのに、たまに自信を無くしてしまったり、判断が遅かったりなど、足りない部分が多いと感じたからです。また、普段の生活では、聞くことのできない話（リーダーとして大切なこと）を聞いて、自分自身成長したいと思うとともに、この塾に参加しないと会うことができないリーダーとして頑張っている子たちとの交流を通して、それぞれの良いところを自分に取り入れたり、共に成長したりしていきたいと思ったからです。

塾を通して伸ばしていきたいと考えた力は、特に人前で話すときに、その場で文章をまとめて、聞いている方々にわかりやすく話せる力と、瞬時に判断して伝えられる、リーダーとして必要な力です。

これらの力をつけるために、まずはできるだけ多くの人と関わるということ意識しました。そうすることで、多くの方々から多くの事を学び、グループワークに繋げることができました。

1日目には、中川塾長の講義を聞いたり、チームビルディング、グループワークを行ったりしました。中川塾長の講話では、「正しい判断ができるリーダーとなって活躍する事」についての話を聞かせていただきました。学んだことの一つ目は、「感謝の気持ちを持つ」ということです。どれだけ小さいことでも、「ありがとう」を言ったり、拍手をしたりして、全ての事に対して感謝の気持ちをもつことで、自分も感謝される人になるということや、良い関係づくりに繋がるということを学びました。2つ目は、「相手の立場に立って行動する」ことです。これから社会人になって自立していくときに、自分の事ではなくても行動を起こすということです。例としては、いじめがあります。いじめをする人というのは、人の心の痛みが分からない人で、いじめをすることが、どれだけ悪いことなのか、いじめられたらどんな気持ちになるのかを考えていないということです。今は、いじめられる側に問題があるという考えではなく、いじめる側に問題があるという考え方になってきています。だからこそ、子どもの内からいじめがどれだけ悪いことかを考える必要があるということが分かりました。そのため、学校で何度も「いじめ」について考える時間（人権について考える時間）をつくってあげたいなと思いました。3つ目は、「協調性をもつ」ことです。今、世界では、うわさが多く広まっています。このうわさは、誰かが人から聞いたことを簡単に受け入れて、広めているせいで広まってしまう。自分勝手な判断をしてしまうと

いうことは、協調性がないということです。このことから、人から聞いた話を簡単に受け入れず、本当にあっているのかを判断したり、自分で確かめたりして、協調性を持つということが大切だということが分かりました。4つ目は、「リーダーとして大切なこと」です。リーダーとして大切なこと①明確な指示を出す。その場しのぎのことを言わない。②人の話をよく聞く。色々な人の話を聞いて、自分を取り入れる。③メモをとる。間違っただけ、正しいことを区別できる。④すばやい判断をする。自信をもって指示を出す。⑤率先して行動する。任せず、挑戦する。この5つのことができることで、誰が正しいかではなく、何が正しいのかを考えられるようになるということがわかりました。

チームビルディングでは、グループのメンバーとの活動を通して、3人などの少人数で意見をまとめる事は簡単でも、多数の意見をまとめることは難しいということ学びました。でも、案を出し合って挑戦していくことで、意見がまとまるとともに、グループからチームへと変わっていききました。

グループワークでは、声を出してはいけない、ジェスチャーをしてはいけないなど、ルールがある中で、体験学習を行いました。やる途中で、何度も声を出したい、伝えたいと思ったけど、最後までやりきれました。この活動を通して、コミュニケーションをとることの大切さについて学べて、改めて、コミュニケーションをとることは大切だと思いました。

2日目は、白川郷学園の方々、白川村合掌集落を案内してもらいながら、白川村の歴史について知りました。ここでは、1日目に中川さんに教えてもらった感謝の心をもつということ意識しました。すれ違った外国人観光客の方などに、自分から挨拶をしたり、お店の人に「ありがとうございます」と挨拶したりすることで、挨拶を返してもらえたときに、すごくうれしかったです。これから学校生活の中でも、家の中でもどこでも感謝の気持ちをもって生活したいです。

午後からは、柴原さんから、現在の白川村の課題と、実際に行っていることについてお話を聞かせていただきました。この聞いた課題を取り入れて、その後のグループワークにつなげることができました。また、実際に行っていることについて聞いて、私の学校でも、地域課題についての解決策を考えているので、教えて頂いたことを取り入れて、より良い企画提案をしていきたいです。

2日目、3日目、4日目の3日間で、課題、現状をつかむところから企画提案発表まで、グループの仲間と協力して、本当に実現できるような内容を考え発表することができました。発表するまで、本当に提案までたどりつけるのか、間に合うのか心配だったけど、学んだことを活用し、知識を取り入れながら、仲間と共に素晴らしい企画提案をつくることができ、本当にうれしかったです。

今回、ぎふ立志リーダー養成塾に参加できて、本当によかったなと思います。この4日間で多くの事を学び、大きく成長できました。リーダー塾を開催して下さった方々、学びの場を提供して下さった方々、講師の方々、スタッフの方々、共に過ごした仲間、家族のみんななど、多くの方々に感謝して、これからも頑張っていきたいし、どこへ行っても学んだことを活かして過ごしていきたいです。

「養成塾で学んだこと」

リーダー養成塾には、学校をもっと活発にしたい、リーダーとしてあるべき姿はどんなものかを知りたくて参加しました。でも、思っていた想像の倍以上のことを学びました。リーダー以前に、人としてあるべき姿を学ぶことができたし、周りにリーダーをやっている人ばかりで色々なリーダーがいて、自分の長所・短所を知ることができました。1日目はバスで来たみんなと仲良くなれるかすごく不安だったけど、チームビルディングをしたことや、食事を重ねる度に仲良くなっていった、不安と緊張を忘れていきました。塾長講義では、感謝に対する他の人の考えを聞いたことが新鮮でした。人間として感謝を持つことでは、私は感謝して、感謝されるようなリーダーになりたいです。また、相手の立場になって考え、受け入れられる人になりたいと思います。塾長から教えていただいた5つのリーダー像と何が正しいか見極めることを心に留めてリーダーとして頑張りたいと思いました。

合掌集落を見て、実際に合掌造りに住んで、守り続けていることにすごいと感じました。また、自分の考えが少し浅はかだったことを自覚することができました。集落が思っていた以上に広くて観光客も多かったのですごく驚きました。事前課題や調べていたことよりもいろんなことを見て知ることができました。例えば、第1次産業が少なくなっていると調べて分かった気になっていましたが、集落内には農業がちゃんとあってやられていました。でも第三次産業に比べたら少ないことが明確に感じられました。義務教育総括監の講義は、すごく楽しくて、学校の国語の授業もこんな風を楽しみたいと思う程でした。はじめに漢字の勉強方法を教えて頂いたことに驚きました。「わたしと 小島と鈴と」を使って授業していただいたこともすごく嬉しかったです。理由は自分の知っている数少ない詩の中で好きな詩だったからです。大学生の音読や、他のグループの音読を聞いて、いろんな工夫の声があって広い視野、見方を持つことの大切さを感じました。また、人の考えを知ることで自分の考えを深めることができました。

グループワークでは付箋に個々の考えを書き出すところからはじめました。何を書くか迷ったときは「地域リーダーに学ぶ」でもらえた資料を見たり相談したりしながらできました。行きづまったりしたときには、大学生のスタッフが「休憩しようか」とか「次は何をする？」などと声をかけてくれてとても助かりました。リハーサルに準備が間に合ったときは、チームのみんなをすごく尊敬しました。チームのみんなは自分の役割もプレゼンの資料も完璧にこなしていて、私も本番、がんばりたいなと思いました。益川副塾長による指導では、プレゼンで足りていないところ、プレゼンをする時に意識すること (see, show, speak) を教えていただきました。教えて頂いたことを企画提案のときにいかすことができ、すごく達成感がありました。また私は話すときに、早くなってしまうという個人の課題がありました。チームの子に言われて気づいたので、本番前の練習で意識してなおしていくことができました。また、練習では「今、はやくなってるよ」とか「ゆっくり」みたいな顔で教えてくれてすごく楽しく練習をすることができました。本番では、できる限り練習を重ねたことや、順番が最後だったのもあって落ち着いて企画提案を行うことができました。

他の塾生とは、すごく仲良くなることができているように感じます。初日のチームビルディングや、2日目の白川郷見学でたくさん話すことができ、3泊4日はとても楽にグループワークを集められました。仲良くなるのは難しいだろうと最初は少しあきらめていたけれど、時がたつたびに仲良くなっていった、すごく良かったです。3日目のふり返りのスピーチを聞いたとき

には、仲間の存在の大きさを改めて実感しました。仲間が居たからこそ、この4日間で宝物になったと思いました。学生スタッフさんとも気軽に話せるようになって、たくさん支えてもらいました。何よりこの立志塾を開いてくださったたくさんの方々に、私たちを育てくださった塾長はじめ講師の皆さまに対し、感謝しかありません。本当にありがとうございました。立志塾で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。

「私が目指すリーダー ～今後はどう生活するか～」

(1) なぜ参加したのか

理由は2つあります。1つ目は、先生から紹介された時、楽しそう、ここへ行ったら自分の目指すリーダーになれるのではないかと考えたからです。2つ目は、1つ目と関わってきますが、正直まだ1つ目の理由だけでは応募に迷っていた時、友達がこの養成塾に参加すると聞いたからです。参加が決まってからの目的は、どんな考え方のリーダーがいて、その考えをどうみんなへ伝えるか学ぼうと思った。

(2) 心に残っていること・学んだこと

塾長の話であった、「感謝できない人は感謝されない」という話です。理由は、自分の目標とするリーダー像が、優しく、みんな(部下とかクラスの人)に愛されるリーダーだからです。まず、みんなに愛されるのはすごく難しいことで、少しでも多くの人に頼られたいと考えていたため、塾長の話が一番心に残っています。

学んだことは3つあります。1つ目は、私は人の名前を覚えるのが苦手でしたが、チームビルディングを通して、人の名前を覚えることも、グループからチームになる方法も学びました。2つ目は仲間の大切さです。どの活動もグループの人や周りの人と協力することが大切になっていて、特にパズルを完成させるグループワークで実感しました。私はどんな形になるか全く予想ができず完成させることができなかつたけど、グループの人達が話せない中、諦めず必死になって伝えようとしていて少しうれしかったです。完成した時は、「やっと終わった」という気持ちが強かったです。3つ目は説明の仕方です。グループで話し合う時も、企画提案の時も、どのグループの人も聞き手に飽きさせないインパクトのある説明でした。ジェスチャーを使ったり、ゆったりはっきり声を出したりすることでインパクトを出し、聞き手にも伝わりやすい説明になることが分かりました。

(3) どんな伸びを実感したか

今まで私は何かの感想を書く時は「～だと思いました」や「考えました」の2つしか使ってこなかったけれど、発表原稿を作っていく時に、「思いました」「考えました」以外の言葉もいれると良いということを学びレポートリーがふえたということです。他にも、自分から進んで行動する大切さを学んでから、準備することを進んでできるようになりました。説明力もついたと思います。

(4) 今後どんなリーダーになりたいか。今の自分の思いや考え

参加した理由にもあったように、私は今回学んだことを活かして、聞き手、話し相手により伝わる表現の工夫や、上手く周りに関わり、みんなをまとめられるリーダーになりたいです。今後への活かし方は、リーダーをやっていく上でいやな仕事、やりたくない仕事が任されても、マイナスな事を言わずに行ったり、すすんで仕事をさがしたりして、自分で考えて行動していきたいです。

す。また、プログラムの中での質問の時や発表について、話し合う時、発表の時などの話し方を見てきてみて、より具体的にみんなに伝える方法、まとめ方、どのように伝えると興味をもってもらえるかなど視野を広げることができたため、班交流などに活かしていきたいです。

今の自分の考えとしては、この経験をいかして、クラスや班での交流を全員に楽しく分かりやすく伝えていきたいです。クラスや学年の人と全く違うタイプの人が集まっていて、たくさんの考え方、話し方、人とどう仲良くなるのか、リーダーとして大切なことを学べたと思います。発言した人への反応の仕方も違い、表現方法が増えて良かったです。立志塾のみんなと過ごしたことを 学校生活以外にもいかしていきたいです。

「私の財産」

今回、私が養成塾に参加させて頂いた目的は2つあります。1つ目は、私が目指すリーダー像である、「真のリーダー」つまり、ボスのような存在ではなく、皆から信頼され、みんなに寄り添い、仲間の為に誰一人見捨てず、行動できるリーダーに少しでも近づきたかったからです。私は今、前期生徒会執行委員として活動しています。その中で、仲間に寄り添った行動ができている時もあるけど、全ての視点から考えられている訳ではないと思い、より多角的に物事を見ることができるようになりました。2つ目は、私の中学校をよりよい学校にしたいと思い、養成塾に参加した仲間の学校での活動や、全校の全員が協力的になってくれるにはどうしたらよいかなど、学びたかったからです。もちろん、協力してくれる仲間は沢山いるけど、全校全員で本気になって取り組み、活動し、全校全員が成長して意味のあるものにしたかったからです。

今回参加させて頂いて、学ばせて頂いたことは、大きく4つあります。

1つ目は、人としての在り方です。「感謝すること」「拍手すること」「自分で立志すること」「反省して成長（自分を改めていくこと）していくこと」「相手の気持ちを考えて行動すること」「自分で活動の場を広げていくこと」「他人が言ったことを鵜呑みにせず、自分の目で見たことを信じること」「自ら“やります！”という探究心を持ち、ポジティブに行動すること」「チャンスを活かし、チャンスを逃さないこと」の大きく9つを学ばせて頂きました。これらの学ばせて頂いたことは当たり前のことですが、すごく大切なことなのだ改めて実感できましたし、実際に中川塾長が開会式の緊張感が漂っている中でも、自ら率先して大きな拍手をしている姿を見て、お話の中にもありましたが、「みんながやってないからやらない」ではなく、「良いことは自らやる」ことの偉大さ、素晴らしさを感じました。

2つ目は、リーダーとしての在り方です。「明確な指示、判断が出せる」「人の話をよく聞く」「メモを取ることの大切さ」「慎重な上にも、素早い判断」「率先して、自ら行動を起こす」「自由に振る舞う＝責任の伴う行動をする」「“誰が正しいか”ではなく“何が正しいか”を見極める」「自分との違いを認める（みんな違ってみんな良い）」の大きく、8つのことを学ばせていただきました。リーダーとしての在り方を改めて学ぶことができ、自分に足りないものを明確にすることができ、私の目指すリーダー像に近づく第一歩となったと思います。

3つ目は、課題解決のポイントです。益田副塾長のお話では、グループワークでのグランドルールを教えてくださいました。①全員が同じ立場として参加する ②他人の意見を否定しない ③全員が場づくりに責任を持つこと（当事者意識）です。「上澄み部分だけを取り上げるのではなく、真の課題を見つける」「ある物活かし（やみくもに新しい活動を始めたりしない）」「一見マイナスに見えるものでも

プラスに捉えることはできないのか」「will,can,need を大切に」「“在りたい姿“、“あるべき姿“から“今“を考える(バックキャスト思考)」「目的、ゴールを明確に」「see→show→speak」「Well-being の実現」など書ききれない程のポイントを教えて頂きました。勿論、今回取り組んだ白川郷の課題解決にあたって、活かすこともできましたが、例えば私でいったら、全校の課題解決に向けて全校の活動を考えていく上で活かせることばかりでした。

4 つ目は、コミュニケーションです。特に、「グループワークとリーダーシップ」の一切コミュニケーションを取らずに、グループ全員で同じ図形を作るという活動では、それぞれが思っている事が分からなかったり、自分の伝えたいことが伝わらなかったりと、自分の日常生活に置き換えて考えてみると、リーダーとして、全校に発信しても全校の全員が同じように受け止めてくれている訳ではないという事や、しっかりとコミュニケーションをとっていかないと、伝わらないということを改めて実感しました。また、白川郷の課題解決に向けてグループの仲間と提案を考える中でも考えや思いが違って、なかなかまとまらなかったり、うまく進まないこともありました。そんな中でも、同じグループの仲間1人1人が色々な役割を果たして、グループに貢献していました。その中でも、仲間の意見を尊重しながら自分の意見を言っている仲間がいて、仲間からも、沢山学ばせて頂きました。

これらの沢山のことを学ばせて頂いて、私は、5つの点で成長できたのではないかと思います。

1 つ目は、養成塾に参加する前よりは物事を多角的に見ることや探究心を持って活動に向かうことができるようになったと思います。様々な活動を通して、自分の視点を色々な視点に置き換えて、多角的に見た後に課題解決に向かい、提案することができました。また、グループワークを通して仲間が思っていることを様々な視点で考えて、仲間のために行動したり、仲間と話し合ったり、交流する中で探究心を持ってグループワークに取り組むことができました。

2 つ目は、「感謝」をすることの大切さを改めて知り、意識して生活していたことで、「ありがとう」の言葉の数が増えたことです。改めて考えてみると、当たり前のことのように感じていることでも当たり前ではなくて、本当にありがたいことだと実感し、言葉にして相手に伝えることができました。

3 つ目は、たくさんメモを取ることができるようになったことです。今までは、“頭で覚えられるからいいか”と感じてしまうことが多く、メモを取らないことが多くありましたが、一回一回の講話で沢山メモをとり、後から見直してみても、学びを何度でも振り返ることができ、メモの大切さを実感しました。

4 つ目は、親がいない4日間で、自分で時計を見て行動したり、先のことを見通して行動したりしたことで、少しは自律できたと思います。今までは、母に管理されていることが多かったけど、自分で自分を管理する力がついたと思います。

5 つ目は、前よりはハキハキと大きな声で話せるようになったと思います。今までは、声が小さかったり、ボソボソ話していたりする事もありましたが、大きな声で自信を持って発言することを意識して生活した事で少しずつ改善できたと思います。これらの様々なことを学ばせて頂いて、これからの学校生活では、リーダーとして学んだ5つのことが当たり前できるようにし、そうすることで全校の皆とより良い信頼関係を築きあげ、私の学校のスローガンである、「開花」が色々な面でできるようにし、全校が一体となって活動できるよう、生徒会執行委員のみで全校に発信するのではなく、リーダー同士の繋がりも大切に、クラス委員に協力してもらったり、全校で目指す姿を明確にし、全校でそれに向かってどうしていくとよいか等を考えていき、意味のある活動にしていきたいです。また、自分自身の生活として、リーダーでも、リーダーでなくても、中川塾長がおっしゃっていたことは当たり前できるようにし、特に「当たり前に感謝する」「良いことは自らやる」「自分で立志すること」

「反省して成長（自分を改めていくこと）していくこと」「相手の気持ちを考えて行動すること」「チャンスを活かし、チャンス逃さないこと」は大切に生活していきたいです。

中川塾長、益川副塾長をはじめ、協賛・後援して下さった皆様、青少年課の皆様、講師をして下さった方々、4日間サポートして下さったスタッフの皆様、施設の方々、白川郷の皆様、一緒に学ばった仲間達、書類を提出して下さった校長先生、送り出してくれた家族、関わって下さった全ての方のおかげで、貴重な会に参加させて頂き、経験をさせて頂き、素敵な時間を過ごさせて頂きました。お世話になりありがとうございました。

「不安と期待からできた最高の4日間」

私は最初、先生に勧められてどうしようかと迷いながらもぎふ立志リーダー養成塾に応募しました。小学6年生の時に代表委員になり、中学1年生の後期にも代表委員になりました。そして、中学2年生でもありがたいことに代表委員として1年間リーダーとしてやることになりました。しかし、リーダーとしてクラスをまとめる事が出来なかったり、話し合いのときも、もう一人の代表委員に話してもらったりと、他人任せにしていました。この塾に行くことができたなら、自分が思うリーダーになれるのではないかとそんな期待をしていました。当選発表を知ることができたとき、知らない学校の人たちと仲良くできるのかという不安と、自分が思うリーダーに近づけるのではという期待が混ざり合っていました。正直事前課題があることに驚き、いざテーマについて調べてみたら、いろんな問題とつながっていて大変でした。リーダー塾当日は、母や父に「緊張してる？」と聞かれ、「してないよ」と答えた私でしたが、本当はすごく緊張していて手が震えるほどでした。バスに乗り、初めて出会う人たちを見てさらに緊張しました。バスの中でもずっとそわそわしていて落ち着けなかったです。1日目は中川塾長の講義がありました。内容はリーダーとして大切な5つのことでした。「明確な指示を出す」「人の話をしっかり聞く」「メモを取る」「すばやい行動」「率先して物事をする」この5つです。また、感謝の心について、人への拍手などを大切にす必要があるとお話しされていました。このことを聞いた時、当たり前のことほどできていないということを考えさせられ、そういうことに目を配る必要があるのだと考えさせられました。「チームビルディング」と「グループワークとリーダーシップ」ではグループの人と一緒に協力し合ったりと楽しく交流したりできました。それだけでなくグループとは何なのか、チームとは何なのかを知ることができました。

2日目では、白川郷に行き、小学6年生の観光大使のみなさんに白川郷についてくわしく教えていただくことができました。柴原さんの「地域リーダーに学ぶ」では、グループで話し合い、今の白川郷の現状や問題点をよりくわしく考えることができました。講話では「私と小鳥と鈴」という作品について学びました。最後の「みんな違ってみんないい」と文章のみんな違っての部分がどういう意味なのかという問題で、A、B、Cと3択でした。私はCを選びましたが、A、Bを選んだ人たちの意見に「悪いところがあってもいいじゃん」という意見があり、なるほどと思いました。

3日目はモーニングウォークをしました。自然についての学習ができ、とても楽しかったです。「グループワーク」では、各自のテーマにそって調べてきたことを出し合い一つの企画を提案します。時間配分や練習もしっかりとでき、とても充実した時間にする事ができました。また、リハーサルで出た良かった点や改善点を知り、自主練習をすることができ、本番に向けて行動す

ることができました。

この3日間はあっという間ではありましたが、その中でたくさんの事を学ぶことができたと思います。

4日目はついにグループでの企画発表をしました。前日に出た改善点を活かして、話すことができ、良い発表にすることができました。最後の閉塾式では泣いている人もたくさんいました。

このリーダー塾が始まる前は「3泊4日もある」、と聞いていましたが、4日目には「3泊4日しかない」という思いに変わっていました。この4日間では、時間厳守や仲間への思いやり、チームワーク、意見の出し合いなどを意識して行動にうつすことができるようになったと思います。これらを踏まえて、私は今後の学校生活や社会に出たときに、いろんな立場になって、チームを引っ張っていけるリーダーになりたいと思います。

私は今回のメンバーと一緒に学ぶことができて本当によかったです。

「一生の財産」

私はこのリーダー塾に参加できたことがとても貴重な経験になったと実感しています。私がリーダー塾への参加を決めたのは母の勧めがあったからでした。また、兄も参加していたから、という理由でした。しかし、リーダー塾は全く知らない人と3泊4日過ごすので、友達 はできるのかな、楽しく過ごせるのかな、課題が難しいので自分にもできるのかな、と不安の気持ちでいっぱいでした。ですが、1日目のプログラムで同じグループの子の顔と名前を覚え、会って数時間しか経っていないとは思えないほど楽しく活動に取り組むことができました。また、楽しく取り組むだけでなく、難しい課題に分担しながら一生懸命考える、空いた時間には各学校の話をする事で仲を深めたり、自分の世界を広げたりすることもできました。私がこの4日で特に心に残ったことは3つあります。

1つ目は中川塾長の講話です。中川塾長の講話では、リーダーとして大切なことや、人として大切なことを学びました。私はリーダーとして指示や方針を出す時に自信をもって話すことができません。話をした後でも本当に良かったかなと考えてしまうこともあります。リーダーに自信がないとみんなも心配になり、信頼もできないと思います。だからこそ、自分の意見に自信を持って話すことを意識することで、仲間から信頼されるようなリーダーを目指したいと思います。また、感謝の気持ちをもつこと、何が正しいのかを見極めることも大切にしていきたいと思いました。どんなささいなことでも当たり前なこととは考えず、感謝の気持ちを持ち伝えることで、相手からも感謝されるよりよい関係性を築いていきたいと思いました。

2つ目は白川郷へ実際に行き、合掌造りを自分の目で見たことです。白川郷学園の子に説明してもらいながら、白川村を初めて散策しました。ネットで調べたり、テレビで見たりすることは何度もありましたが実際に体験することで、より深く白川村のことを知れたり、3回目の「地域課題への企画提案」にも活かしたりすることができました。

3つ目は「地域課題への企画提案」をグループで協力して取り組んだことです。企画提案は丸1日かけて考えました。グループで現状と課題を出し、課題を解決するためにはどうしたらいいのか何度も話し合いました。発表準備からは2人ずつで分担し、分担されたところをペアの子と話しながら精一杯取り組みました。行き詰まってしまった時には、他のペアにアドバイスを聞きに行ったり、新しく決まったことはグループ内でシェアしたり、コミュニケーションも大切に進

めていきました。予定より早く集まったり、夜の空いた時間を使ったりとプログラム外の時間も使って発表準備をしました。1人1人が分担された仕事に責任を持ち、最後までよりよくしようと改善し続けたからこそ、最高の発表を作り上げることができたと思います。

私はこのリーダー塾を通して、周りを見る力、仲間とコミュニケーションをとりながら取り組む力、自信を持って話す力がついたと思います。周りを見る力は、仲間が何をしていた、だから自分は何をしないといけないのか、グループであと何をしなければならないのか考えたことで力がついたと思います。1人で取り組むのではなく、仲間と取り組んだからこそ、周りを見る力がつきました。コミュニケーションをとりながら取り組む力も仲間と分担しながら1つの課題に向けて考えたことで、1人ではなく仲間の意見を聞いたり、こまめに打ち合わせたりしながら進めたことでつけることができました。自信を持って話す力は、グループの仲間がいつも自信を持って自分の意見を主張してくれるので、自分も自信を持って意見を話す力がつきました。自信を持って話すだけでも、より活発な話し合いになり、グループとしてもよりよい意見が出るようになると思いました。

私にとってこのリーダー塾はたくさんのことを学び、経験できた濃い4日間でした。リーダー塾で出会った仲間はそれぞれに良さがあり、自分に取り入れたいと思う姿をたくさん見つけることができました。このような経験を今できたことは自分にとってとても貴重な財産になりました。他の学校のリーダーと関わることもとても良い刺激になりました。私はリーダー塾での学び、つけた力を今度は学校で発揮したいと思います。今回、リーダー塾でついた3つの力はどれもリーダーとして必要な力だと思います。リーダーは仲間の意見を聞いたり、全体を見たりすることが大切です。また、仲間から見本にしたい姿もたくさん見つけました。これらを活かして、仲間の意見を大切にできる、信頼されるリーダーになっていきたいです。私は、リーダー塾を通して1人ではできなかったけど、仲間と共に取り組んだことで自分にはなかった発想、意見があり、よりよい発表を作り上げられました。だからこそ、学校でも1人でやろうとするのではなく、周りにアドバイスをもらったり、私が仲間に声をかけてあげたりすることでみんなでよりよい物を作り上げられるようにしたいです。今回私が学んだことは一生の財産になったと思います。学んだことを最大限に活かして今後の学校生活を送りたいです。

～保護者の感想より～

○初めて会う他の生徒さんたちと三泊四日での活動ということで、出発前は少し心配していましたが、帰宅した娘は「すごく楽しかった！」と三泊四日の活動内容を充実した顔で報告してくれました。志の高い仲間と課題解決に向けて意見交換をしたり、協力して活動する中で、多くの刺激を受けたようでした。親から見ても一回りたくましく成長したように感じます。このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

○とても、刺激を受けて帰ってきました。知らなかった仲間との出会い、そして共に考えつくり上げていった時間が「本当に勉強になる、楽しかった」とお話ししてくれました。一人一人参加された仲間も前向きな方ばかりで これからの人生に必ず繋がっていくと思えました。貴重な体験をさせて頂き感謝しています。

○3泊4日の研修を終え、疲れている様子はあったものの、少し大きく成長した息子が垣間見えました。感想文を読んで、学級委員や部長を務める中でも、彼なりにこれでいいのかと葛藤しながら頑張っていたのだと初めて知ることが出来ました。今回の研修で多くの学びを吸収した事を今後の自信につなげていけるといいですし、チャンスがあればまた是非参加させたいと思います。お世話になりました。

○立志塾を終え、たくましく自信さえ感じ取れました。素晴らしい仲間との交流で得たことが多かったのだと感じました。新しい事に挑戦することの大切さも身につけてきた気がします。仲間の大切さ、感謝の気持ち、色々な体験を忘れずに今後に結びつけて欲しいです。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

○岐阜駅へ送り出した時は、本当に不安気で自信もなく、4日間大丈夫だろうか?と私も不安でした。しかし迎えに行き仲間との別れ際、「〇〇(名前)じゃあまたね!」それぞれ大きな声で手を振り、どの子もその声からは自信に満ち溢れ、充実した4日間だったのだなと胸が熱くなりました。車に乗ると「すごい勉強になった4日間だった」と興奮気味に話し、家に帰ってからも弟2人に「お父さん、お母さんにありがとうって感謝の気持ち持ってるか?」私には、「お母さんには同じに見えるかもしれないけど、僕は変わったから!」と。本当に学んだことが多かったのだなと感じました。これからもどんどん新しいことに挑戦し、またまわりへの感謝の気持ちも忘れず成長して欲しいと思います。本当にありがとうございました。

○中学校からはひとりの参加、地元の花火大会と重なる中、躊躇なく応募し、参加が決まり喜んでいました。期待通り、県内の同じ志の友達と有意義な時間を過ごすことができたようでとてもいい顔をして帰ってきました。小さい中学校で普段過ごす中、いろんな考え、意見に触れ、いい刺激になったようです。このような機会をいただき、成長した姿が見られることと思います。ありがとうございました。

○貴重な体験をさせていただきありがとうございました。やりたいと思ったことを見つけ実行する力を大切にさせています。本プログラムの申し込みから参加、振り返りを通して自主性を育むことができ、参加させてとても良かったと思いました。

○ぎふ立志リーダー養成塾に参加させていただき、帰宅してきた時の顔が忘れられません。その顔を見たら何も聞かずとも、彼にとって実り多き4日間だったと確信しました。この4日間の仲間との体験を心に刻み、学校生活をより良いものにしていてもらいたいと思います。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

○4日間、大変お世話になりありがとうございました。関わって下さった全ての方々に感謝致します。私も参加させていただきたいと思う程、とても貴重な魅力のある4日間だと思っておりました。楽しみにしながらも、当日は、緊張した様子でしたが、迎えにいった時の子ども達は、豊かな表情と仲間との絆、自信に満ち溢れた一回り大きく成長した様子を実感しました。

○子供が課題をしている時間、私も調べてみました。知らないことが多く、私自身も学び、考えさせられる時間となりました。今後、白川郷や世界遺産についてはもちろんの事、リーダーとして学ばせていただいた事を、恩返し、貢献できる様に、挑戦してもらい、親としても、サポートしていきたいと思います。受験が終わったら、家族でゆっくり白川郷で過ごしたいと思います。貴重な経験を有難うございました。

○リーダー塾から帰ってきて、最初の言葉が「すごく楽しかった。もっと仲間と一緒に過ごしたかったなあ」でした。娘の学年はコロナによって学校生活は大きく制限され、修学旅行などの活動がなくなり、今まであたり前であった学校生活がほとんど送れないままきていました。仲間と活動することの楽しさや寝食を共にしながら過ごすことの良さを感じる機会がなかったと思います。リーダー塾から帰ってきた娘の表情は大きく変わり、いろいろなことに前向きに取り組むようになりました。また、一緒に活動した仲間との繋がりは、本人にとって大切な宝物になったようです。学生スタッフの方もたくさんアドバイスをしてくださったり、プログラムの時間外でもずっと付き合ってくださったりと、素敵な先輩の姿を見て感じるものがあったようです。娘にとってとても有意義な4日間となりました。ありがとうございました。

○私達の住んでいる地域では保育園から中学校までほとんど変わらないメンバーが同級生になります。クラス替えもなく、中学生になるともう大体それぞれの役割が暗然の内に決まっています。たくさんの人と出会うことができた今回の機会は、本人が「行きたい」と決めた事でした。正直驚きましたが、帰ってきて嬉しそうに楽しそうに出来事を話す姿を見て、頼もしく誇らしく思いました。身近に居ては体験できないこと、一人で飛び込んで、新しい世界を少し覗いてこれたのかなと思います。貴重な経験の機会をいただき感謝しております。ありがとうございました。

○挑戦してみようと思いつつも不安そうに迎えのバスに向かって行った子どもが、帰る時は、皆にあだ名で呼ばれ「またね!」と別れを惜しんでいました。その姿を見ただけで、どれだけ貴重で大切な

出合いがあったか分かりました。

課題に対して仲間と取り組めたこと、様々な立場の方の話を聞かせていただき、白川村に触れられたこと、全てが良い体験であったと思います。リーダー養成に関わってくださった全ての方に感謝します。お世話になり、ありがとうございました。

○小学生の頃から、比較的リーダーの役割を持つことにチャレンジをしてきましたが、それはいつも限られた地域、組織の中のことでした。今回の養成塾では、市外の仲間と出合い、数日間仲間として活動できたことが大きな刺激となり、視野を広げる貴重な機会となったようです。岐阜県の未来はどのようなのか、そして自分の住む町の課題は何なのか、そのような視点を意識していくきっかけとなったことと思い、貴重な機会に参加させていただき、誠にありがとうございました。

○参加する日が近づくにつれて不安そうにしていた娘でしたが、帰ってきた時にすごく良い顔になって帰ってきました。塾中の夜もこちらは不安なので「どう?」と聞くと「楽しい!!」とすぐ返事がきて安心しました。県内の別の学校の人たちとの交流、3年の先輩が多くてどうかなど本人は言っていました、それが逆に新しい考え方や話が聞けた所が私も娘を見て行かせてよかったと思いました。

○塾参加後、普段の会話の中で、他の人のことを話すときに、自分の考えだけでなく、他の人の考え方や性格など、他の人の立場を理解した上で話すようになったと感じられました。自分の意見を押し通すだけでなく、周りの意見などもしっかりと聞き入れて、自分の意見や考え方に反映させられるような人へと成長していったらいいです。

○今回、ぎふ立志リーダー養成塾に参加させていただきありがとうございました。参加が決まったときは「行きたくないな・・・」と言っていたので、大丈夫かなと心配もありました。3泊4日を終え、家に帰ってくると第一声は「めっちゃ楽しかった」でした。その一言を聞いてホッとしました。先輩方と話ができたことや、仲間と取り組んだことで充実感を味わったと思います。何よりリーダー養成塾をやり遂げた達成感があったと思います。今後の学校生活につながっていくことを願っています。

○仲間の意見を聞くことの大切さ、また、その意見が出やすくする雰囲気づくりの大切さがしっかり学べたようです。今回の仲間は理解が早いメンバーだったかもしれませんが、言葉だけでは人には伝わらないこともあると思います。その点でもゲームが良い経験になったようです。数ある意見も鵜呑みにせず、多数決でもなく、正しい判断ができる子に成長してください。家族、学校、地域、国、世界と、リーダーといってもいろいろあります。より広い視野でのリーダーに期待します。今回の養成塾で、良い仲間、良い先輩に出会えたことが何よりの経験であり、成果であったと思います。素晴らしい機会を頂きありがとうございました。

○昨年、娘に「こんなのあるみたいやけど参加してみる?」と聞いた時は、「知らない人ばかりだから嫌や」と言っていたのですが、今年案内が来たときは自分から「参加してみたい!」と言い、応募しました。生徒会長として様々な行事を頑張ってきて、辛い時もあったけど本人の地震につながっているからこそ、知らない人ばかりのところ頑張ってみようと思えたのかなと、親として嬉しく、誇らしく

思います。準備期間から心配より楽しみが大きく、4日間の研修を終えてからも、4日間で出会った仲間と友だちになり、連絡を取り合ったりしている姿を見て、参加させて良かったなど心から思いました。「疲れたー」と言っていました。得たものはたくさんあると思います。貴重な体験をさせて頂いたこと、感謝しています。ありがとうございました。

○今回、娘がぎふ立志リーダー養成塾に参加できて非常によかったと思います。養成塾の4日が、娘にとって多くの学びがあり貴重な時間を過ごさせて頂いたと思います。自分を受け入れてもらい、認められてきている安心感、人間関係の大切さを身を持って体感したと思います。今回の学びをこれからの人生に活かしていってくれたらうれしいです。誠にありがとうございました。

○塾に参加し、学校ではできない体験をたくさんさせて頂き本当にありがとうございました。帰宅すると「自分が気付いていない力があることを知る事が出来た。私すごく成長できたと思う。」と自分に自信をもつ事が出来るようになっており、我が子の姿に感動しました。初対面の方々でしたが、4日間、いろんなことに取り組む中で、すごく強い絆で結ばれ、生涯の友と出会うことが出来ました。今後の学校生活の中でも養成塾での経験を力にできると嬉しく思っております。4日間、お世話になりました。ありがとうございます。高校生になったら、高校生向けリーダー養成塾に参加したいと思っております。よろしく願いいたします。

○メンバーが皆、人間的に魅力ある子ばかりだったそうで、最初から親しげに話しかけてくれた子、発表の話がとてもわかりやすい子、何よりどの子も人の話をきちんと受け止め、聞くことができる子だったと感激して話してくれました。

講義、考察、議論、発表のスケジュール的にはハードだったそうですが、だからこそ皆で協力して出来たとも聞きました。とても内容の濃い3泊4日だったようです。またこのメンバーで集まりたいと言っています。昨年までは「知らない人が集まる場所には行きたくない」と言っていた息子が、今年は「行ってみようかな」と参加を希望して、志の高い子たちに刺激を受けて、「自分ももっと挑戦してみたい!!」と、どんどん前向きになってきていることは、親として嬉しい限りです。ありがとうございました。

○この度は貴重な機会をいただきありがとうございます。

友達に誘ってもらい入った生徒会、全校生徒の前で話すのにも失敗した、、思うように時間配分が出来なかった、、、と自宅で結構、悔やお姿がありました。コロナ明けて人生初めての修学旅行でも、自分のせいで集合時間に遅れてしまった(15分位、、、)事を引きずって、帰宅した後もずっと楽しめなかったと言っていた娘です。頑張っているのに勿体なく感じている時に、いただいたこちらの案内に駄目でもともとで応募しました。ご縁があって送り出す事が出来て本当に良かったと思いました。

普段とは違う仲間同士で、お互いの進路について語り合い、県内の同世代がどんな生活をしているのか、グループ発表を通して親睦を深められた事は、娘にとって、親としても、素晴らしい刺激をいただけたと感謝致しております。初日のミーティングでは各々意見がまとまらなかったけれど、最後の発表まで皆で出来た事などとてもいい笑顔で報告してくれた時には成長を感じました。少し先輩である立志塾卒業生のサポーターさん達や、優しく見守り、折々声をかけて下さった職員の皆様、

美味しいお食事を作って下さる方々、受け入れて下さる白川郷の皆様全てのおかげだなあと感じました。特に進路で迷っている最中で、少し先に行くサポーターの先輩方や、同じ様に生徒会で頑張っている同級生達の存在は、夢を持って頑張る励みになったと思います。

親ではとてもさせてあげられない経験をさせてくださり、ありがとうございます。この経験が未来に活かされますように。

○参加前は人見知りもあり、上手く他者と関われるのか不安もありましたが、本人からぜひ参加したいと聞き、挑戦させてみようと思し込みました。親の心配をよそに、帰って来た娘の顔はキラキラと輝いており、充実した4日間を過ごせたのだなとうれしく思いました。参加しなければ会えなかった人たちと縁があったこと、一緒に活動できたことは娘にとって大きな財産になったと思います。この経験を大切にしてほしいと思います。

○息子のバスを待つ間、息子がすごく緊張しているのがわかりました。過疎地域でとても少ない人数での経験しかなく、知らない人たちと過ごすこともなかったから私も不安でした。でも、迎えに行くと、行きとは全く違う顔の息子を見て、本当に行かせてよかったと思えました。4日間で、色々なことを仲間と学び成長した、自信がついた、リーダーとは何か、本当にたくさん学びがあったのだと思います。本当にありがとうございました。とても素晴らしいプログラムだと思えました。



～学生スタッフの感想～

立志リーダー塾を終えて

今回、ご縁があって学生スタッフとして塾に参加させていただきました。とても有意義な時間をありがとうございました。目まぐるしく変化し、とても充実した4日間でした。

皆さんの様子を一番近くで見させていただいていた身として、「みんなの成長したところはここだ！」と言うことができたなら格好良かったのですが、皆さんは私たちの想像するスピードをはるかに超え、毎日成長していってくれました。中川塾長の講話で学んだ「感謝の心」をすぐ取り入れ、直後の食事から実践するところ、柴原さんの講話でみえてきた白川郷の課題を、自分の事前学習と関連づけて考えを深めていけるところ、自分の意見をしっかりともち、仲間に主張しつつも受け入れて「お互いの意見の良さ」を探していけるところ。そんな学ぶ意欲をもち、即実行することができていたところが、特に印象に残っている皆さんの成長を感じた部分です。素直で吸収力があるからこそできるものだと感心しました。

さて、皆さんはこの塾を通してリーダーとは何だと思えましたか？中学では生徒会長や学級委員など周りをまとめるポジションで活躍している皆さんですが、今回同じような立場の人と集まったとき、その中での自分の立ち位置はいつもと同じでしたでしょうか。頼られる側の皆さんが、頼れる人と一緒に活動するとき、自分はどう変化していましたか？どのような場面で熱中していたでしょうか。リーダーと聞くと中心に立って引っ張っていく人や目立つ人が想像されがちですが、皆さんにはそんな言葉の概念にとらわれず、自分の「得意」を理解して活躍できる大人になって欲しいです。私は自分の魅力を理解し、最大限発揮できる人に、周りの人は勝手についてくると思っています。自分がどう在りたいか、一番力を発揮できる部分はどこなのか、ぜひ考えてみてください。そんなことを考えてみるきっかけとなる4日間になっていたら嬉しいです。

初日は正直帰りたいなあ…と言う表情が隠しきれなかった皆さんが、最終日にはバスの窓をなんとか開けて手を振って別れを惜しんでいましたね。普段、出会って4日目の人とそこまで仲良くなる機会なんてありません。それがこの4日間がいかに素敵なものだったかを表していると思います。この出会いと繋がりを大切にして、自分の活躍する地でこれからも頑張ってください。陰ながら応援しています。

また、大学生になってこの4日間のことを思い出す日が来たら、今度はぜひ学生スタッフとして参加してみてください。楽しかった日々を思い出すだけでなく、新たな発見や成長がたくさんありますよ。

最後になりますが、お忙しい中このような貴重な機会をくださった県職員の皆様、トヨタ白川郷自然学校の皆様、そして、ぎふ立志リーダー養成塾の運営に関わった全ての皆様に感謝申し上げます。

成長と素敵な姿で溢れた4日間

3泊4日間おつかれさまでした。Dグループの担当としてお世話になりました大学3年生の小森佳歩です。参加してから時間が経ってしまったのですが、あの4日間を少しずつ思い出しながら、皆さんと一緒に過ごして感じたことを記そうと思います。皆さんが成長したことと随所で見られた素敵な姿という点で書きます。Dグループの話が中心となりますが、Dグループ担当ということでお許しく

ださい。

まず、皆さんが成長したことについて。4日間を通して、それぞれこんな成長ができた！ということがあったのではないかと思います。毎日の振り返りで「明日はこれを頑張りたい」と目標を立て、次の日に頑張っている姿が見えたのはとても嬉しかったです。この4日間で少しでも何かを得ていきたいという想いが表れていたのかなと感じていました。私から見て頑張っていたと思うのは、意見を主張すること、自分の役割を見つけること、なんだかんだやりきることの3点です。意見を主張するという点について、普段学校での活動だとしても意見をたくさん出す人が固定していることがあると思います。こういった学校外の場所だからこそ、まずはチームへの貢献として意見を出すということ頑張ろうとしている姿が印象的でした。日を追う毎に出る意見の数が増えていたと思います。役割を見つけることも同様に、お互いの性格が分からない中で、今自分が出来ることやるべきことは何かを考えて動いていたと思います。なんだかんだやりきることに限らず、短い期間の中でかなり難しい課題に対してゴールにたどり着けたのはとても感心していました。発表前日の夜遅くまで話し合い、皆で合意に至った姿がとても印象的です。こういった頑張りを通して、それぞれが初日より堂々とした姿で最終日を迎えられていたと思います。

次に、素敵な姿について。皆が皆を大切にしていたこと、全員が納得することにこだわるのが素敵だったなと思っています。お互いどうやってチームを作り、課題を進めるべきか分からない中では、誰かが自分の意見で引っ張っていくという姿が見られてもおかしくなかったはずですが、皆さんはお互いを見合っ、意見がなかなか出せない人に対して働きかけをしたり、全員の意見に誰かが必ず反応を示したりしながら、ゆっくりと着実に取り組んでいたと思います。皆さんの優しさ、誠実さが素敵なチームを作って、最高の提案をつくりあげられたのではないかと思います。

最後に、4日間何より私自身が沢山のことを学ばせていただきました。Dグループはもちろん、それ以外のグループの子、学生スタッフとの関わりなどを通して、自分も少し成長できたように感じています。皆さんに負けたくない私も頑張ろうと思えました。

たくさんの素敵な姿をお互い称え合いながら、皆さんが持っていること、成長してきたことにそれぞれ自信をもって、今後も前を向いて進んでいってほしいです。皆さんの今後の活躍を心から応援しています。またどこかで会いましょう。

自分の魅力、相手の魅力

3泊4日という長いようで短い期間の中で、みなさんは周りの仲間の良さ以上に自分の良さにも気づけたのではないのでしょうか。それぞれの中学校で活躍しているリーダーたちの姿は本当に輝いていて、「〇〇さんはほんとにすごいな」、「ちょっと自信を無くしたかも…」そんな風に感じてしまった瞬間ももしかしたらあったかもしれません。でも、そう思えたことが成長へとつながる大切な一歩だと私はいつも感じています。

2日目の夜、地域課題への企画提案の活動が本格的にスタートしました。これまで調べてきたり、聞いて得たりした情報を分析しながら自分たちのゴールを定め、考えを一つの形に作り上げていく活動はとても大変だったと思います。初めてグループの仲間と意見を重ねていく中で、思うように自分の考えを伝えられなかったり、なかなか決まらないこの時間にもやもやしてしまったりする姿が見られたように感じました。そんな2日目の振り返りシートには、自分自身への反省が多く書かれていました。しかし、全員が反省で止まることなく、明日への意気込みやどんな風に行動を変えていくのか

とても具体的に熱く語られていました。みなさんの前向きな気持ちや行動によって、3日目はより良いものために全員が気持ちや考えを伝えあうことが出来ただけでなく、相手の良いところを認め合う言葉が多く聞こえてきました。毎日の振り返りで自分自身について考えることから、他者へと視野を広げることが出来たという成長の瞬間だったと私は感じています。また、自分の得意なことを積極的に生かそうとする姿勢も、自分自身の強みを理解しているからこそ移せた行動だと思いました。

周りの仲間の姿から自分自身に足りていないものを感じたということは、今の自分にあるものを理解しているからこそ感じる事が出来た経験です。また、リーダーだからといってすべてのことが出来なくなっていていい、自分や周りの仲間の得意・武器を理解して生かせるように引き出せるのがリーダーだと私は思います。この3泊4日であらためて自分自身の魅力に気づき、相手の魅力にも気づいて認め合う大切さを学びました。これからそれぞれの学校生活や、何気ない場面でのグループ活動でも、今まで学んだことや経験したことを生かし、「グループからチーム」になれるようこれからも頑張っていきたいと思っています。みなさんの行動力があれば、きっとこれから先どんな壁が立ち立ってきても仲間と協力して乗り越えていけるはずですよ。これからの皆さんのご活躍を応援しています。

学生スタッフの職を終えて

この度、ぎふ立志リーダー養成塾に学生スタッフとして参加させていただき、非常に価値のある時間を過ごさせていただくことができました。私たち学生スタッフの役割としては中学生の参加者の方々の生活をサポートすることでしたが、その中で彼らの成長を間近で見守る機会を持てたことは、私にとっても大きな学びとなりました。

自分が中学生として参加したときは同期から大きな影響を受けてとても楽しく、また多くを学べたことを今でも鮮明に覚えています。大学生になった時から常々学生スタッフとして参加させてほしいと思っており、大学四年生になり念願がかなってついに参加することができましたが、今回も参加してよかったと心から思えるような合宿でした。

初めの頃、多くの中学生の参加者は初めての環境や他の学校からの参加者たちに戸惑っている様子が見受けられました。しかし、3泊4日の間に彼らがどれほどの変化を遂げるかは、予想をはるかに超えるものでした。困難な課題や活動に挑戦する中で、彼らは自らの限界に挑戦し、団体（チーム）としての協力やコミュニケーションの重要性を学んでいきました。さすがは各中学校で生徒会役員を担っている人たちだと思いました。

特に印象的だったのは、それぞれが自分の意見や考えをしっかりと持ち、それを他者に伝えることの大切さを学ぶ姿でした。白川郷の美しい自然やそこで地方特有の問題に取り組んでいる方々との交流を通じて、彼らは自分たちの役割や責任を再認識し、一人一人がリーダーとしての資質を育んでいくのを感じることができました。

私自身、学生スタッフとして彼らをサポートする中で、彼らの純粋な情熱や成長する姿勢に感銘を受け、自分自身もまた学びの大切さや新しいことに対する挑戦の価値を再認識することができました。彼らとともに過ごすことで、私の人生観や価値観もより豊かになったと感じています。

学生スタッフとしては至らぬ点も多くあったかもしれませんが中学生の参加者皆さんの成長の礎に少しでも貢献できたとしたら幸いです。

この経験を通じて、未来のリーダーたちの成長を支えることの価値と、私自身の成長の可能性を再確認できたことに心から感謝しています。また、参加された中学生の方々は今、リーダーとしての大

変すばらしい資質を持っているので是非それを磨くことを怠ることなく今後も頑張ってくださいたいです。東京から応援しています。

夢に向かう、大きな一歩

この度は貴重な時間と体験をさせていただきありがとうございました。私の教師になるという夢へのとても大きな一歩となりました。

私がこのぎふ立志リーダー養成塾に、学生スタッフとして参加し感じたことは子どもたちには素晴らしい力があり、また魅力を持っているということです。今回の活動のメインである地域課題への取り組みにおけるグループワークでは、自然と役割が分けられ、別々で考えたものを最後には一つのものにしていくといった、大人でも難しいようなことをわずかな時間で成し遂げたことから彼らの力を感じました。またグループ活動以外のオリエンテーリングをはじめ、仲間との様々な交流の中で各個人の違った個性が見られ、それぞれが魅力を持っていると感じました。

初めは顔も名前も知らなかったのに、最終日には別れの際に泣いてしまうほどの関係になっていく過程を、5年前とは違い今回は学生スタッフとして実際に立ち会う、とても貴重な体験をさせていただきました。また塾生だけでなく他の学生スタッフの仲間からも多くの刺激を受けました。かつてぎふ立志リーダー養成塾に参加し、自分とは違った道に進んでいる他の学生スタッフと交流できるのは、学生スタッフにしか味わえないこの塾の醍醐味だと思います。

この4日間は私にとって非常に内容の濃い時間となりました。特に自分の担当グループの塾生には自分の4、5年分の経験からなることを伝えられたと思います。

この活動に参加させていただき本当にありがとうございました。



事業の成果

ぎふ立志リーダー養成塾参加者の事前（開塾式前）、事後（閉塾式前）、追跡（2か月後）において「生きる力」の変容を「IKR 評定用紙（簡易版）」（独立行政法人国立青少年教育振興機構）を用いたアンケート調査を行った。以下にアンケート調査結果を示す。

（生きる力・28項目の集計結果）

能力	調査項目	事前調査		事後調査		追跡調査	
		M	SD	M	SD	M	SD
生きる力		131.3	18.3	148.6	17.1	144.3	17.2
心理的社会的能力		64.5	10.0	74.9	8.9	71.8	8.8
非依存	1. いやなことは、いやとはっきり言える	4.2	1.1	5.1	1.1	4.7	1.2
	15. 小さな失敗をおそれない	4.4	1.2	5.4	0.9	5.0	1.0
積極性	11. 自分からすすんで何でもやる	5.0	1.0	5.5	0.7	5.5	0.8
	25. 前向きに、物事を考えられる	4.8	0.9	5.7	0.7	5.3	0.9
明朗性	5. だれにでも話しかけることができる	4.2	1.4	5.2	0.8	5.0	1.0
	19. 失敗しても、立ち直るのがはやい	4.0	1.4	5.0	1.0	4.6	1.2
交友・協調	7. 多くの人に好かれている	4.1	1.1	4.9	1.0	4.9	0.9
	21. だれにでも仲よくできる	5.0	1.1	5.5	0.8	5.3	0.8
現実肯定	9. 自分のことが大好きである	4.1	1.3	4.9	0.9	4.6	1.0
	23. だれにでも、あいさつができる	5.4	0.9	5.7	0.7	5.8	0.7
視野・判断	3. 先を見通して、自分で計画が立てられる	4.4	1.1	5.3	1.0	4.7	0.8
	17. 自分で問題点や課題を見つけることができる	4.9	1.1	5.5	0.8	5.3	0.9
適応行動	8. 人の話をきちんと聞くことができる	5.2	0.9	5.8	0.7	5.6	0.6
	22. その場にふさわしい行動ができる	4.9	1.0	5.5	0.9	5.5	0.8
徳育的能力		41.3	5.5	44.4	5.1	43.8	4.8
自己規制	14. 自分かつてな、わがまを言わない	4.4	1.5	5.4	0.9	5.0	1.2
	28. お金やモノのむだ使いをしない	4.8	1.0	5.0	1.4	5.0	1.0
自然への関心	6. 花や風景などの美しいものに、感動できる	5.2	1.1	5.6	0.8	5.6	0.7
	20. 季節の変化を感じることができる	5.2	1.2	5.4	0.9	5.4	0.8
まじめ勤勉	12. いやがらずに、よく働く	5.2	1.0	5.6	0.6	5.7	0.6
	26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.7	0.6	5.8	0.6	5.8	0.5
思いやり	2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ	5.5	0.7	5.8	0.7	5.7	0.6
	16. 人の心の痛みがわかる	5.3	0.8	5.7	0.6	5.5	0.7
身体的能力		25.4	5.2	29.3	4.8	28.8	5.3
日常的行動力	13. 早寝早起きである	3.9	1.6	5.0	0.9	4.5	1.3
	27. からだを動かしても、疲れにくい	4.6	1.2	4.8	1.2	4.8	1.1
身体的耐性	4. 暑さや寒さに、まけない	4.4	1.3	4.9	0.9	4.7	1.1
	18. とても痛いケガをしても、がまんできる	4.6	1.2	5.2	0.8	5.0	1.1
野外技能・生活	10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	3.8	1.7	4.7	1.6	4.8	1.2
	24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.2	1.5	4.8	1.3	5.0	1.1

*各項目で「とてもあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点としてそれぞれ1点刻みで得点化し、項目ごとに平均点（M）及び標準偏差（SD）を算出

（教育効果の検証）分析方法：反復測定による一元配置分散分析（分析結果の詳細は詳細出力を参照）

「生きる力」の変容（得点範囲：28～168点）

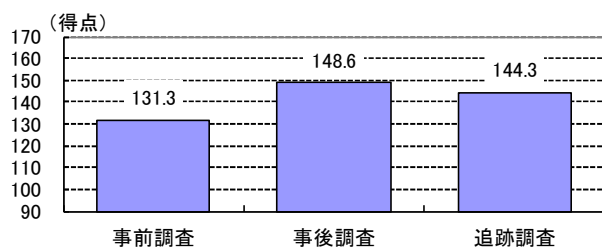


図1. 「生きる力」の平均値の推移

（事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 17.3ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

（事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 4.3ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

（事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 13.0ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

「心理的社会的能力」の変容（得点範囲：14～84点）

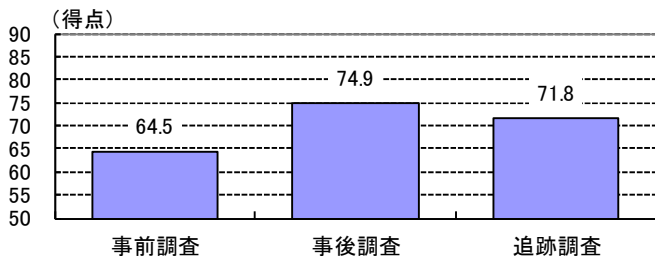


図2. 「心理的社会的能力」の平均値の推移

（事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 10.4ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

（事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 3.1ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

（事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 7.3ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

「徳育的能力」の変容（得点範囲：8～48点）

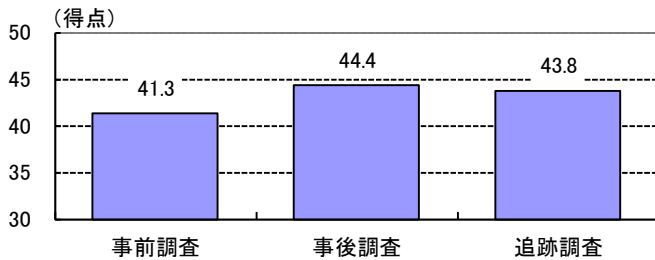


図3. 「徳育的能力」の平均値の推移

（事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 3.1ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

（事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 0.6ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

（事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 2.5ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

「身体的能力」の変容（得点範囲：6～36点）

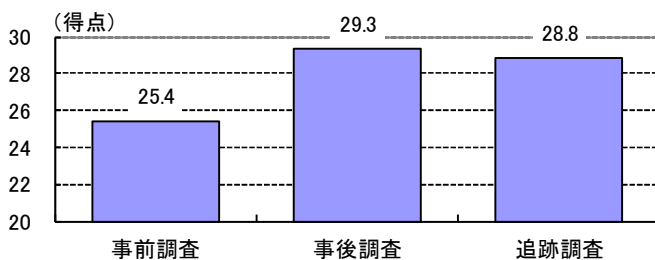


図4. 「身体的能力」の平均値の推移

（事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 3.9ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

（事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 0.5ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

（事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 3.4ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

結果の考察

「生きる力」の3つの指標「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の全ての項目において、事前から事後、事前から追跡にかけてその向上に有意差が見られた。また、事後から追跡においては全ての項目でポイントの低下がみられたがその低下に有意差は見られなかった。ぎふ立志リーダー養成塾での経験により、リーダー塾参加2か月後においても参加者の「生きる力」の向上が継続していると考えられる。

事前から事後にかけて、平均点が1ポイント以上向上した項目は「1.先を見通して、自分で計画が立てられる」「5.だれにでも話しかけることができる」「13.早寝早起きである」「14.自分かってな、わがままを言わない」「15.小さな失敗をおそれない」「19.失敗しても、立ち直るのがはやい」の6つの項目であった。6つの項目のうち4つの項目が「心理的社会的能力」にあたることから、ぎふ立志リーダー養成塾において、「心理的社会的能力」の向上への影響が大きいことが考えられる。

この塾を開催するにあたり、協賛、後援いただいたみなさん

(協賛)

一般社団法人岐阜県経済同友会

一般社団法人岐阜県経営者協会

岐阜県商工会議所連合会

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜県商工会連合会

(後援)

岐阜県教育委員会

令和5年11月現在 順不同

[事務局]

岐阜県環境生活部私学振興・青少年課青少年係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL : 058-272-1111 (内線)3039 、 058-272-8238 (直通)

FAX : 058-278-2612

Eメール : c11151@pref.gifu.lg.jp



岐阜県 環境生活部 私学振興・青少年課
青少年係

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

T E L : 058-272-1111 (内線 3039)

058-272-8238 (直通)